	No. 6 —	1 基本事務事業			<b>殳管理事務</b>	=	事務事業	名 勝命				事務		シート作成日		年12月19日
	部局名		画総務部		課名		契約管財		主務認			坂		ノート作成者名		训 学
	事業区分	○ 1 ソフト事			3 経常的事務				金∙負担金			幸温	'B' L \L	直営		全部委託
	争未区力	○ 2 ハード事			4 施設の維持			6 内部	管理事務		他	木廷		一部委託		甫助等
		基本構想(政策				ζ			実施計	·画				業の開始・終う		
	総合計画	基本計画(施第						<u> </u>	1 該当					令和 <mark>年</mark>	☑ 期間	設定なし
		主要施策	(2)	公園∙緑均	地の管理体制	の充	実	0	2 非該当	<u> </u>	村	見拠況	<b>去</b> 令等			
		対象(誰を、 何を)	券命コミュ	ュニティ公	京											
	事業の 対象・目的	目的(どうい り)	最終的	勝命コミュ	Lニティ公園によ	tって、	市民福祉	业の増進	に寄与す	ることを	を目的と	します	· .			
PL		たいのか) 4	今年度													
AN		具体的にどの。		動を行い	ゝますか。(主た	なもの	5つまで	<u>.</u>								
N		① 公園管理・														
	事業の	② 草刈りなど	、シルバ	一人材セ	ンターの活用											
	活動内容	3														
		4														
		<u>5</u>		=1 hh ! =			2271		T = 4		<u>_</u>	_		1 A T-	h	
		指標名			は指標設定理		単位		半队	29 4	中 <u></u>		F成 30 年度	令和 1	年度	最終目標
	数値目標			指標設定 設定しなし	になじまないた	(A)		目標 実績								
	(事業の目的 及び活動内			政化しない	′ ' o			_ <del></del>								
	容の達成度							<u>日保</u> 実績								
	を測る指標)							目標								
								実績								
	予算費目	会 計		一般	会計	_	款	2 総系	务費		項	1	総務管理費	目 2	財産管理	理費
			平	成 2	9 年度決	算	平成	30	年度決	:算	令和		年度予算		備考	
		国庫支出	金		-	千円				千円			千	円		
			金		:	千円				千円			千	円		
	直接事業費		債		-	千円				千円			千	円		
D	但该于未具	その他特定財				千円				千円			千			
0			源		79 -					千円			79 <del>1</del>			
		計(A)			79					千円			<b>79</b> ∓1			
	1 /4 # /= \	正職員工数·経		002 人	12	千円	0.002	人	12	千円	0.002	人	12 千	円		
	人件費(B)	臨時·嘱託職和		, ,												
	人仕事	臨時·嘱託工数·経	È質	人		千円		人		千円		人	0 +1			
	王14事	業費(A+B)			91	十円			91	千円			<b>91</b> 千日	<b>      </b>		

			チェック項目		<b>—</b> 2	欠評価	一次評価の	兑明	二次	(評価
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	•	少ない	○ 大きい	地元の要望により設 であるため、地域の意	いの場と	<ul><li>少ない</li></ul>	○ 大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	0	ない	<ul><li>ある</li></ul>	しての必要性をもって 近年来園者が非常に		○ ない	<ul><li>ある</li></ul>
	性	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	•	ある	○ ない	近年末園石が非市にています。	グはくなう	<ul><li>ある</li></ul>	○ ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	0	いる	● いない			○ いる	<ul><li>いない</li></ul>
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	0	いえない	● いえる	毎年、草刈りなどの約 必要です。現状は、小		○ いえない	● いえる
	有	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	•	いえない	○ いえる	場所としての活用に置		いえない	○ いえる
C	効性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	0	する	● しない	ます。		○ する	○ しない
CHECK		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	•	できない	( できる			● できない	○ できる
C		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	0	目標に比	とべて劣っている	少子化に伴い、利用: に少ないと見受けられ		○ 目標に比	べて劣っている
	達世	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	0	あまり上っ	がっていない	にクないこの文行の作	0676	○ あまり上か	「っていない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	0	概ね達原	 艾している	1		の 概ね達成	している
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	•	十分達成	成している			● 十分達成	えしている
		1.	効果に比べてコストが高い。	0	高い	● 適当	維持経費に対して、利 ないため、効率が良く		○高い	● 適当
	効率	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	0	できる	● できない	ます。また、園地接続	道の幅員	○ できる	● できない
	性性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	0	ある	● ない	が狭く、安全面でも整 です。	備か必要	🔾 ಹತ	● ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0	ある	● ない			<ul><li>ある</li></ul>	● ない
			一次評価					評価		
	評値	西点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合評	7価			有効性 達成度	効率	性総	合評価
	<u> </u>	を の	1   2   4   6   C     ○ 拡大·充実   ● 現状維持   ○ 方法改善 ○ 民間委託	エ生	0	<u>     1              </u> □ 拡大·充実		_ <b> 4</b> 〕方法改	<u> </u>	<u>   C                                 </u>
		句性		164			統合/終期設定			可安心分
A	/31	, i.	○ 柳叶 ○ 柳 □ / 柳 □ / 柳 □ / 柳 □ / 柳 □ / 柳 □ /				評価での指摘事項			<u> </u>
ACTIO			今後、勝命コミュニティ公園をどうするか、園地以外の利用も含め、土地 法を考える必要があります。	の活り			き、地元での管理を検			
Ň	وع	革案 実行 画			7,0] )	ではどの方では	10、地儿(0)自注他的	, <sub>日</sub> 1 しみから、	、·日 <i>刈</i> ルロかひか	[±ト.1~0・40の。
		員会 i事項								

	No. 6 —	2 基本事務事	業名	政財産管理	里事務	事務事	事業名 行	<b>页</b> 政財産管理	事務		公的関与	4 シ	ート作成日	令和元	年12月19日
	部局名	ı̂	上画総務		課名	契約管		主務課			東 明	シー	-卜作成者名		5川 学
	事業区分	1 ソフト			3 経常的事務			カ金∙負担金·		_ = = -	堂方法	1 直			全部委託
	争未应力	○ 2 ハード			4 施設の維持	管理(	6 内部	常管理事務∙	その他		10000000000000000000000000000000000000		-部委託		補助等
		基本構想(政		当なし				実施計画	<u> </u>				の開始・終っ		
	総合計画	基本計画(施						○ 1 該当		平成		<mark>~</mark> 令	和年	☑ 期間	聞設定なし
		主要施策					(	<ul><li>2 非該当</li></ul>		根拠	法令等				
		対象(誰を、 何を)	行政財	産											
		目的(どういう状態にし	最終的	有効活用	を図ります。										
PL		たいのか)	今年度	有効活用	を図ります。										
AN					ゝますか。(主な	もの5つま	まで)								
N		① 公園遊具													
	事業の	② 園地・施語													
	活動内容	③ 建物災害	共済												
		4													
		5													
		指標名	各		は指標設定理			平成	29 年	度	平成 30 年	F度	令和 1	年度	最終目標
	数値目標				になじまないたぬ	5	目標								
	(事業の目的			設定しない	, <b>\</b> <sub>0</sub>		実績								
	及び活動内 容の達成度						目標						<u> </u>		
	春の建成度 を測る指標)						実績								
							目標 実績						_		
	予算費目	会 計			스타	款		₹   8務費		項 1	総務管理	弗	目 2	財産管	田弗
	了并良口	五 司	5	平成 2:				年度決算	<b>车</b>	<u>       块       </u> 令和		予算		備考	任貝
		国庫支出		1 19% 2		円	30		-円	In J.H	1 +1X	千円		畑つ	
		県支出	金			円			-円			千円			
		<u>/// // // // // // // // // // // // //</u>	債			円			-円			千円			
D	直接事業費	その他特定則				円			-円			千円			
0		一般財	源		678 ∓			691 <del>1</del>			72	2 千円			
		計(A)			678 <del>⊺</del>				-円			2 千円			
		正職員工数:	経費 C	).204 人	1,210 <del>T</del>		4 人	1,184	-円 (	0.204 人	1,23	2 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託聯	<b>銭種</b>												
		臨時·嘱託工数·	·経費	人	<b>0</b> Ŧ	円	人	0 7	-円	人		0 千円			
	全体事業	業費(A+B)			1,888 ∓	円		1,875 <del>1</del>	-円		1,95	4 千円	l		

			チェック項目		一次	マ評価	一次評価の説明	二次	評価
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	0	少ない	<ul><li>大きい</li></ul>	建物・遊具の老朽化により、その 安全性が問われているため、必	○ 少ない	● 大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	0	ない	<ul><li>ある</li></ul>	要です。	○ ない	<ul><li>ある</li></ul>
	性		住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	0	ある	● ない		ある	● ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	0	いる	● いない		<ul><li>เงื</li></ul>	● いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	0	いえない	● いえる	市民が安心して使用できるよう、 危険性があるものは修繕してい	○ いえない	● いえる
	有効	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	0	いえない	いえる	ます。また、適時に修繕できな	○ いえない	いえる
C	性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	0	する	● しない	かった場合には、賠償保険の対象にならない状態も生じます。	○ する	● しない
CHECK		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0	できない	● できる		○ できない	● できる
CK		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	0	目標に比	べて劣っている	市が設置した遊具については、 すべて点検しています。	○ 目標に比/	べて劣っている
	達	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	0	あまり上か	がっていない	・タ・、これ快しているり。	○ あまり上が	っていない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	(a)	概ね達成	 している		○ 概ね達成し	している
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	0	十分達成	<b>さしている</b>		● 十分達成	している
		1.	効果に比べてコストが高い。	0	高い	● 適当	遊具点検は毎年度実施していま すが、建物も含め所管課での修	○ 高い	● 適当
	効	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	•	できる	○ できない	善・巡視は必要です。	○ できる	● できない
	率性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	0	ある	● ない		○ ある	● ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0	ある	● ない		○ ある	● ない
			一次評価			_	二次評価		
	評化	西点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合評	価	ļ		有効性 達成度 効率	性総	合評価
	<u></u>	を の	4     4     3     3     A       ○ 拡大・充実     ⑤ 現状維持     ○ 方法改善     ○ 民間委託	1生	0	<b>4</b> 拡大∙充実		 善 ○ 民間	_A ]委託等
		句性				縮小	統合/終期設定		J女 印 寸
C			O 411 - O 410 E 7 4 7 7 1 2 7 2 7 1		Ĭ		評価での指摘事項及び一次評		į
ACTIO			公園等の遊具について年1回の点検を実施し、その結果を所管課に報告 ます。	iしてし		≥に其づき管理	できています。今後も適正管理に	タめて下さい	
Ň	と写 計	革案 実行 画	遊具の点検を一括して実施し、修繕等は所管課が次回点検までに対応し す。	っている		川に坐 ノロ 日 垤	(してているす。7 仮ひ煙止 日 垤(〜)	₩ Y C I. Co.,º	
		員会 i事項							

	No. 6 —	3 基本事務事			里事務	事	务事業名	普通	且財産処況	分事務	X fi		公的関与 2 シ	一卜作成日		
	部局名		画総務		課名		的管財課		主務調			坂		-卜作成者名		川学
	事業区分	<ul><li>1 ソフト事</li></ul>			3 経常的事務				金∙負担金			幸 温	営方法 2 1 直			部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持		• 6	内部管	<b>管理事務</b>		他	木廷		·部委託	4 補	助等
					、共につくる阿泫				実施計	·画				の開始・終了		
	総合計画				行財政運営の			0	1 該当			成	17 <mark>年 ~</mark> 令		☑ 期間	設定なし
		主要施策	(3)	公共施設	め総合的な管	「理の推	進	<b>O</b>	2 非該当	<b>当</b>	相	見拠に	去令等 阿波市財	務規則		
		対象(誰を、 何を)	市民													
	事業の 対象・目的	目的(どういう) 対態にし	最終的	普通財産	の効率的な有効	が活用を	図ります	0								
PL		たいのか)			の効率的な有効			0								
AN					ゝますか。(主な	きもの5	つまで)									
N		① 土地・建物														
	事業の	② 公有財産物	処分等検	討委員会	の開催											
	活動内容	3														
		4														
		5		] =   <i>tri</i> =     =		1 1 33				/	<u>_</u>	_		A 1-	<del></del>	
		指標名	1		は指標設定理		位	⊐ <del>↓</del> ##	半队	29 4	中度		平成 30 年度	令和 1 :	年度	最終目標
	数値目標			指標設定  設定しなし	になじまないたと	Ø		ョ標 実績								
	(事業の目的 及び活動内			政定しる	, · o			►限_ 目標								
	容の達成度							主続 実績								
	を測る指標)							<u>►順</u> 目標								
								<del>1 陈</del> 実績								
	予算費目	会 計		一般	会計	<u> </u>		総教	务費		項	1	総務管理費	目 2 !	材産管理	費
			平	成 2	9 年度決算	草   平	成	30	年度決	算	令和		<b>年度予算</b>		備考	
		国庫支出	金		Ŧ	-円				千円			千円			
		県 支 出	金		Ŧ	-円				千円			千円			
	直接事業費	地方	債		Ŧ	一円				千円			千円			
D	但该事本貝	その他特定財				-円				千円			千円			
0			源			-円			4,864				500 千円			
		計(A)			0 =				4,864				500 千円			
	I til the te	正職員工数·紹		050 人	296 <del>1</del>	-円 0.	050 人		290	千円	0.050	人	302 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職														
	A /I	臨時·嘱託工数·約	<b>经</b> 費	人	0 =		人			千円		人	0 千円			
	全体事	業費(A+B)			296 <del>T</del>	-円			5,154	千円			802 千円			

					ック項目				— <u>}</u>	欠評価		_	-次評価の	D説明			二次	評価	i
		1.	市が実施しなく主体があり、事					0	少ない	<b>①</b> :	大きい	等のコス	について( トもかかる			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況	兄の中、次年	度以降実施	する緊急性が認	忍められない。	0	ない	<b>O</b> i	ある	る必要が	あります。			0	ない	•	ある
	性		住民満足度の向」					0	ある	O 7	ない					0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの低上回るサービス			自治体と比較し	<sub>ン</sub> てニーズを	0	いる	<b>O</b> (	いない					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実現	見するために	、事業内容が	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえない	0 (	ハえる		管理シス 能な公有			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマンネ	り化など、旅	<b>地策への貢献</b> 度	ほが著しく高いと	はいえない。	0	いえない	<b>O</b> (	ハえる	ます。	10.0 A 17	V1 / <del>1</del> C	)L )/±0	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する旅	施策の中で類	似・重複し	た事務事業が存	存在する。	0	する	<b>O</b>	しない					0	する	•	しない
KOHHOK		4.	事業の継続をし	ても成果の	向上が期待	できない。		0	できない	<b>O</b> -	できる				•	0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対し	て進捗状況	₿が劣ってい	ると思う。		0	目標に比	とべて劣っ	ている		、御所園の ているが、			0	目標に比り	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対し	て成果があ	まり上がっ	ていないと思う	<b>5</b> 。	0	あまり上っ	がっていな	il1	ていない		ACZD1.	-±')	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対し	て 概ね目標	栗を達成して	いると思う。		0	概ね達原	せしている		1				0	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対し	て十分に目	標を達成し	ていると思う。		0	十分達用	戊している	)				•	•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べてコ	コストが高い	١,			0	高い	<b>(</b> )	適当		トットによる 施策と連携			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体の	こくウハウギ	新たな制度	を活用できる。		0	できる	<b>O</b> -	できない		地はありま		みこ、以	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と成	<b></b> 大果の関係で	:、実施手段	等を見直す余均	也がある。	•	ある	0 7	ない					0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約方	法の変更な	こどによりコ	スト削減の余均	也がある。	0	ある	O 7	ない	1				0	ある	•	ない
					一次	評価							=:	次評個	<u> </u>				
	評値	甲	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評	′価		必要性	. 1	有効性	達成原	Ŧ	効率性	生	総	合評	-価
	<b>△</b> ½	を の	<b>4</b> ○ 拡大·充実	<b>4</b> 译 ┃ <mark>●</mark> 現状	<u>      2                              </u>	_ <b> 3</b> 〕方法改善	B ○ 民間委i	千笙	0	 拡大	 · 充宝	<b>4</b>  ● 現状	<b>4</b> ├維持	$\bigcirc$ 7	4_ 5法改善	ŧ	○ 民間	A 表記	 £笙
Α		句性					〇 民间安日		-			統合/終			<u> </u>		O KIR	134	
C			•		<u> </u>							評価での					の相違点	į	
ACH-O		面の :題	平成30年から引 現在の有償貸付 討委員会にて決	†契約の更新	も並行して進	<b>Éめます。そのほ</b>	か、公有財産を	四分等	等検 未 <sup>決</sup>		の財産処	『分につい	て売却だけ	ナでなく	く、貸し付	けけの	可能性も	検討	けしてくだ
N	計	画	今後も継続して	事業を進めて	こいきます。				さい	<b>\</b> °									
		員会 i事項																	

	No. 6 —	4 基本事務事	業名一普遍	<b>通財産管理</b>	<b>里事務</b>	事務事	業名一普遍	<u> </u>			公的関与 2	シート作成日		¥12月19日
	部局名	ı̂	上画総務	部	課名	契約管則	財課	主務課長	長名	坂		/一ト作成者名		川学
	事業区分	① 1 ソフト?			3 経常的事務事	業	5 補助:	金•負担金•	支援	車業温	'B' F \ T	直営		全部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務・そ		<b>事未</b> 连	2	一部委託	4 神	亅
					、共につくる阿波			実施計画				業の開始・終了		
	総合計画				行財政運営の推		0	·		平成		令和 年	✓ 期間	設定なし
		主要施策	(3)	)公共施設	との総合的な管理	の推進	<b>(</b>	2 非該当		根拠沿	法令等 阿波市	財務規則		
		対象(誰を、 何を)	市民											
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	普通財産	の効率的な有効活	用を図りる	ます。							
PL		たいのか)	, , , , , , ,		の効率的な有効活									
AN					<b>ヽ</b> ますか。(主なも	の5つま	で)							
N		① 普通財産												
	事業の	② 公有財産	処分等権	食討委員会	開催									
	活動内容	3												
		4												
		5	<del></del>	1=1 //		22 II	ı		. <i>F</i> d	<del></del> l -		1 4 1 1	<i>-</i> -	
		指標名	<u>占</u>	計昇式入	スは指標設定理由	単位		平成 2	9 年度	5 -	平成 30 年度	令和 1	年度	最終目標
	数値目標	貸付件数					目標 実績			19	1	7		
	(事業の目的 及び活動内						日標			18	<u>'</u>	/		
	容の達成度						実績							
	を測る指標)						目標							
							実績							
	予算費目	会 計		一般	会計	款	2 総	多費		項 1	総務管理費	目 2	財産管理	里費
			<u> </u>	7成 2	9 年度決算	平成	30	年度決算	一令	和	年度予算		備考	
		国庫支出	金		千円			Ŧ	<b>-</b>		千日	円		
		県 支 出	金		千円			千	<del>"</del>		千	<del></del>		
	直接事業費	地 方	債		千円			千	<del>"</del>		千	<b>म</b>		
D	但按学术貝	その他特定則	<b>財源</b>		千円			千	円		千日	끡		
0		一 般 財	源		千円			千	円		千日	<del>기</del>		
		計(A)			0 千円			<b>0</b> ∓			0 <del>1</del> 1			
	1. (il. #h. (e.)	正職員工数:		.260 人	1,542 千円	0.260	人	1,509 千	円 0.	260 人	1,570 千F	<del>"</del>		
	人件費(B)	臨時·嘱託聯		,										
	۸ 4 <del>+ .</del>	臨時·嘱託工数· 業費(A+B)	·経費	人	0 千円		人	0 <del>1</del>		人	0 +1			
	■ 1111 111	王台(4十八)			1,542 千円			1,509 千	4		1,570 千日	41		

					<b></b>	ェック項目						·次評	価		_	-次評価	Ω∰I	18		二次	▽重正石	ī
		1.	市が実施	しなっ				が確保できる等	・他の実施							と 等の貸付						
								影響は大きくな		0	少ない	, (	) 大きし	۱,۱	あります		, ,, ,,	20 5 10		少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい則	] 政状	況の中、次	年度以降	実施す	する緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある			美地・宅地 について			0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足	度の向.	上のために	現在の手	段、カ	法等の改善の余	余地がある。	•	ある	С	ない			務を推進し			0	ある	•	ない
		4.			低下がみら スとなって		近隣目	自治体と比較し	, てニーズを	0	いる	•	) いなし	Λ					0	いる	•	いない
		1.	施策の目	的を実	現するため	こ、事業内	容が必	必ずしも適切とは	はいえない。	0	いえな	い <b>(</b>	いえる	5		)財産を公で把握し		産管理	0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容の	フマンネ	トリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	い <b>(</b>	いえる	;		で記録し	<b></b>		0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施	するか	施策の中で	類似・重	复し <i>†</i>	と事務事業が存	存在する。	0	する	•	しなし	١					0	する	•	しない
HE		4.	事業の組	継続を	しても成果	の向上が	期待で	できない。		0	できな	い (	) できる	5					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定	に対	して進捗状	況が劣っ	ている	ると思 <b>う</b> 。		0	目標に	比べて	劣っている	<u></u> る		を 管理シス	テムな	を活用	0	目標に比	べて針	っている
	達	2.	目標設定	に対	して成果が	あまり上	がって	ていないと思う	j °	•	あまり_	上がって	いない		し、推進し	しまり。			0	あまり上か	ってし	ない
	成度	3.	目標設定	に対	して概ね目	標を達成	してに	いると思う。		0	概ね道	成して	 เงอ						0	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定	に対	して十分に	目標を達	或して	ていると思う。		Ō	十分達	を成して	いる						•	十分達成	してし	る
		1.	効果に比	べて:	コストが高	い。				0	高い	•	適当			<b>E</b> 処分等板		員会に	0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施	主体の	のノウハウ	や新たな	制度る	を活用できる。		0	できる	•	できた	۲JĮ	おいて使	討します	0		0	できる	0	できない
	率性	3.	予算・人	、員とは	<b>ず果の関係</b>	で、実施	手段等	<b>等を見直す余</b> 地	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や	契約	方法の変更	などによ	りコス	スト削減の余地	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
						-	-次評	平価				_				=	次評	価				
	評値	西点	必要'	生	有効性	達成	度	効率性	総合評	価		必要		4	与効性	達成	度	効率	性	総	合評	価
			3	<b>-</b> -	4 = 1 © TE	<u>2</u>		<b>4</b>	A	T 55		<u>4</u>		<u></u>	<u>4</u>	<u>4</u>		<u>4</u>	¥		A	7 <i>b</i> b
		後の 対性	<ul><li>○ 拡力</li><li>○ 縮力</li></ul>			状維持 終期設定			〇 民間委託	<b>七寺</b>		<ul><li>○ 拡</li><li>○ 縮</li></ul>	大・充法		<ul><li>● 現物</li><li>統合/終</li></ul>	大維持 知识字	_	方法改表 廃止/休		○ 民間	]委	T 守
AC	יו ני	-) IT	<b>一</b> 州田7.	• [		於扮成是		光工/ 水工				<u> </u>	_			)指摘事:				の相違占	<u> </u>	
TIO	当司課	面の !題	貸付等可	「能な則	オ産を貸付け	<b>ン</b> ます。						~ nuk — :										
N	وع	革案 実行 ·画	今後も継	続して	事業を進め	ていきます	٠,				į	I 解 <i>(</i> )	期回の┊	把扱	ご労める	とともにそ	6後も	週止官埋	(に)分(	めてくださ	ι, ν <sub>°</sub>	
		員会  事項																				

	No. 6 —	6 基本事務事業			事務	Juli.	事務事業名	3 庁舎	§物品購 <i>入</i>	、事務		公的関与	2 シ	ート作成日		年12月10日
	部局名		画総務		課名		契約管財調		主務課			坂東 明		-卜作成者:		京野 幸広
	事業区分	<ul><li>1 ソフト事</li></ul>			3 経常的事務				金·負担金			運営方法	✓ 1 値			全部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持		. 06	内部	管理事務•		世本	连舌刀丛		-部委託		補助等
		基本構想(政策							実施計	画				の開始・終		
	総合計画	基本計画(施	策) (5)	計画的な	c行財政運営(	の推進			1 該当		平成		<mark>~</mark> 令	·和 :	年 川期	間設定なし
		主要施策						0 🖭	2 非該当		根拠	且法令等				
		対象(誰を、 <sub>)</sub> 何を)	宁舎用物	<b>为品</b>												
		目的(どういう)	最終的	庁舎用の	備品及び消耗	品を購	入します。									
PL		たいのか)			紙、衛生消耗品			ぎす。								
AN		具体的にどの			ヽますか。(主	なもの	5つまで)									
N		① コピー用紙														
	事業の	② 衛生消耗品														
	活動内容	③ 封筒の購入														
		4 備品台帳の														
		⑤ 什器の購入		1 = 1 /// =		тті	22/ L		I	22 F	- <del></del> -		<i>F</i>	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	. <i>-</i>	
		指標名			ては指標設定理		単位	<b>□ +</b> ==	平成	29 年	- 度	平成 30	牛皮	令和	1 年度	最終目標
	数値目標			指標設定設定しなり	!になじまないた   ヽ	<u>-</u> Ø		目標_								
	(事業の目的 及び活動内			政定しる	<b>0</b> -0			<del>左順</del> 目標								
	容の達成度							<del>口 /示</del> 実績								
	を測る指標)							<u> </u>								
								<u>- //-</u> 実績								
	予算費目	会計				•	款		•		項			目		
			平	·成 2	9 年度決	算	平成	30	年度決	算	令和	1 年	度予算		備考	
		国庫支出				千円			:	千円			千円			
		県 支 出				千円				千円			千円			
	直接事業費	地方	債			千円				千円			千円			
D		その他特定財				千円				千円			千円			
0			源		4,612				6,061				196 千円			
		計(A)	2弗 ^	500 人	4,612		0.500 人		6,061		0.500 人		196 千円			
	人件費(B)	正職員工数·紹 臨時·嘱託職		500 A	2,965	十円	0.500 人		2,903	+H (	0.000 人	. 3,	<mark>019</mark> 千円			
		臨時·嘱託工数·約		人	0	千円	人		0	£ ED	人		0 千円			
		<sup>皿時</sup> 鴻正工数 ボ 業費(A+B)	- F	八	7,577				8,964				215 千円			

			チェック項目			— <u>}</u>	欠評価	i	_	−次評価の	説明		二次	評価	ī
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくなし		0	少ない	•	大きい	業務が停	M品が揃って P滞する可能		0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認め	かられない。	0	ない	•	ある	す。			0	ない	•	ある
	性		住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地		0	ある	•	ない				0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較して 上回るサービスとなっている。	てニーズを	0	いる	•	いない				0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはい	ハえない。	0	いえない	· O	いえる		のものをまで、経費削減		0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとは	いえない。	0	いえない	· •	いえる	ます。	C、性 貝 門 //	いこンながり	0	いえない	•	いえる
C	効 性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在	生する。	0	する	•	しない				0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。		0	できない	• •	できる				0	できない	•	できる
C		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。		0	目標にと	とべて劣	っている	必要性の	ある物品を	厳選して購	0	目標に比	べて劣	っている
	達せ	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。		0	あまり上	がってい	ない	7000	<b>Д</b> У 0		0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。		0	概ね達用	成してい	<u>る</u>				0	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。		•	十分達用	求してい	る				•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べてコストが高い。		0	高い	0	適当		のは随意契 能な限り入れ		0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。		0	できる	•	できない	約として			0	できる	•	できない
	性性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地が	<b>がある。</b>	0	ある	•	ない				0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地が	がある。	0	ある	•	ない				0	ある	•	ない
			一次評価						_	-	:評価				
	評化	西点	必要性         有効性         達成度         効率性           4         4         4         4	総合評	価		必要f ∡	生	有効性	達成度	効率	性	総	合評	価
	今往	を の	7 7 7 7	A ) 民間委記	£¥.	С		<u> </u> 、·充実	<b>4</b>   ● 現物	<b>│ 4</b> 犬維持 【①	<b> 4</b> 〕方法改 <sup>:</sup>	<u></u>		A 【委】	£等
Δ		<b>向性</b>			<del>=</del>	Ŏ			統合/終		<b>廃止/</b> 体		-		
Ĉ								二次	マ評価での	)指摘事項.	及び一次評	価と	の相違点	į	
ACTIO		面の!題	ほかにも適用できる物品がないかを検討します。												
Ö						<b></b> - 交加:	変的に	使用1.	計画的に	購入してくだ	<b>\$</b> 1.1.				
N	-	革案 単行				,,,,	1 43		ш, Шнэ, <u>-</u> х	11710 (1/2)	_ 0				
		·画	7 区 の心心して必安な7の日で勝入しみす。												
		員会 i事項													

	No. 6 —	7 基本事務事			事務	事務	事業名	庁舎防火管	理事務	文 分	公的関与	2 シ	一卜作成日	令和元年	年7月31日
	部局名		画総務		課名		管財課		課長名		坂東 明		-ト作成者名		睪 正彦
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務			前助金∙負担		<b>4 4</b>	運営方法	✓ 1 値			全部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持		○ 6 Þ	7部管理事務		他	连舌刀丛		-部委託	4 祥	助等
					、共につくる阿え			実施					の開始・終了		
	総合計画				行財政運営の			○ 1 該当		平成		-	和 <mark>年</mark>	期間	設定なし
		主要施策	(3)	公共施設	め総合的な管	理の推	進	● 2 非該	当	根	処法令等	消防法			
		対象(誰を、 何を)	庁舎(付	属施設)											
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	火災を未	然に防ぎます。										
PL		たいのか)			保守点検を実施										
AN					ゝますか。(主な	こもの5つ	oまで)								
N		① 消防対象			<b></b> 全業務										
	事業の	② 防火訓練													
	活動内容	③ 危険物施													
		4 消防法に	伴う届出	ほか											
		5		- 1 to -		1 1 232	71				T - 12 - 2 - 2	<i>5</i>	A 7-		
		指標名	<u> </u>		は指標設定理		-		रे 29 द	中度	平成 30	牛度	令和 1	年度	最終目標
	数値目標			指標設定  設定しなし	になじまないたと	Ø		標 !績							
	(事業の目的 及び活動内			改定しない	, 'o			·祺 標							
	及び活動内 容の達成度							<del>惊</del> !績							
	を測る指標)							標							
								!績							
	予算費目	会 計		一般	会計			総務費		項	1 総務管	理費	目 2	財産管理	里費
			平	成 2	9 年度決算			0 年度	央算	令和		度予算		備考	
		国庫支出	金		7	f円			千円			千円			
		県 支 出	金		7	f円			千円			千円			
	直接事業費	地 方	債		7	戶円			千円			千円			
D	但该学术员	その他特定則	オ源		7	千円			千円			千円			
0		一 般 財	源			f円			千円			千円			
		計(A)			F 0				千円			0 千円			
	L til =th to	正職員工数·絲		050 人	<b>296</b> =	戶円 0.0	50 人	290	千円	0.050 丿		302 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職													
	A /I	臨時·嘱託工数·	経費	人	F 0		人		千円			0 千円			
	全体事	業費(A+B)			<b>296</b> ∃	千円		290	千円			302 千円			

				チ	ェック項目						次評価	<b>픎</b>		_	-次評価(	の説明	3		二次	· 証 侃	F
		1.		なくても、公	平性・公正		「確保できる等		0	少ない		<u> 大きい</u>		庁舎の火	災を未然	に防き	、火災	0	少ない		・ 大きい
	必	2					<u>ジ響は大きくな</u> トる緊急性が認			ない	$\dashv$	ある		になって <del>-</del> 要があり	も速やかり ます	こ消火	する必		ない		
	要	_					る案忌性が認 		0	ある		ない		×10 05 7	<b>5</b> 7 6						ある ない
	性						活等の改善の気				+-										
		<u> </u>		ビスとなって		-174 -	170 PT C 204X C		0	いる	•	いない							いる		いない
		1.	施策の目的を	実現するために	こ、事業内容	₹が必	がずしも適切とに	<b>まいえない</b> 。	0	いえなし	γ 🔘	いえる		火災を防 産を守り	ぐことによ	り、市	民の財	0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマ	ンネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなし	γ <u>Θ</u>	いえる		圧でりり	<b>6</b> 70			0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施す	る施策の中で	類似・重複	更した	- 事務事業が存	在する。	0	する	•	しない						0	する	•	しない
HE		4.	事業の継続	をしても成果	の向上が期	持て	<b>ごきない</b> 。		0	できなし	, <b>Θ</b>	できる						0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に	対して進捗状	況が劣って	こいる	ると思う。		0	目標に	比べて貧	劣っている			基づき、注	肖防設	備の点	0	目標に比	べて針	らっている
	達	2.	目標設定に	対して成果が	あまり上か	うて	こいないと思う	<b>j</b> °	0	あまり上		ハない		検を実施	しまり。			0	あまり上か	ってし	ない
	成度	3.	目標設定に	対して概ね目	標を達成し	てし	いると思う。		•	概ね達	 成してに	いる						0	概ね達成	してい	る
	^	4.	目標設定に	対して十分に	目標を達成	えして	こいると思う。		0	十分達								•	十分達成	してし	る
		1.	効果に比べ	てコストが高	い。				0	高い	10	適当			に基づき	、効率	的に運	0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主	体のノウハウ	や新たな制	痩を	 E活用できる。		0	できる	0	できな		用してい	ます。			0	できる		できない
	率件	3.	予算・人員	と成果の関係	で、実施手	-段等	手を見直す余地	 也がある。	0	ある		ない						0	ある	•	ない
	-	4.	電子化や契	約方法の変更	などにより	リコス	スト削減の余地	 bがある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
					_	次評										次評値	<u></u>				
	評値	西点	必要性	有効性	達成原	芰	効率性	総合評	価		必要	性	有	効性	達成	芰	効率性	生	総	合評	価
			4	<b>  4</b>	<u> </u>		<b>4</b> 方法改善	A ○ R問表言	イ <i>吐</i>		4	+ *	5 T		4 		<b>4</b> _ 方法改割	É		A B <del>To S</del>	7 <u>65</u>
		後の 句性	○ 拡大・3		状維持 終期設定		<u>万法以普</u> 廃止/休止	〇 民間委認	10寸		)縮/	大·充)		<u> </u>	大維持 - 期設定		万法以表 廃止/休			リ安に	17.守
A	73 1.	-) I.T.	○ WE-1		公别政人		<b>光</b> 亚/				<u> </u>	-			指摘事具				の相違点	į	
T	当百	面の	職員の防災が	±÷₩ϭϮ┖									7 (1	11 122 200	1 H 1 H 2 1 - 1	<i></i>	У (#1	<u></u>	THAT!		
	課	題	臧貝の防災!	思諏の向上																	
ON										—————————————————————————————————————	令に基	基づき今	後も	<b>-</b> 適正管理	理に努めて	てくださ	زا، د				
N		案	△纵+刎绁□	<b>ナ市米ナ</b> ルル	<b>ナ</b> ハキナナ																
		€1J 画	フ1をも極続し	ンて事業を進 <i>め</i>	ていさより	0															
		会																			
	指摘	事項																			

	No. 6 —	9 基本事務事	業名本	<b>宁舎管理</b>	事務	事	務事業名	会議	室管理事務			公的関与 3	シ	一卜作成日	令和元年	年7月31日
	部局名	企	画総務		課名		契約管財課		主務課長	名	坂	東明		-ト作成者名		睪 正彦
	事業区分	① 1 ソフト			3 経常的事務				⋛∙負担金∙支		李洱	営方法				È部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持		○ 6 F	内部管	管理事務・その	D他 <sup>す</sup>	木廷	当力仏		-部委託		輔助等
					、共につくる阿				実施計画					の開始・終了		
	総合計画				ネ行財政運営の				1 該当		7成	年 ~	令	和年	□ 期間	設定なし
		主要施策	(3)	公共施設	设の総合的な にんしょう かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	管理の	推進	<b>①</b>	2 非該当	7	根拠法	<b>去</b> 令等				
		対象(誰を、 何を)	庁舎内会	議室												
		目的(どういう状態にし	最終的	会議室を	効率的に使用し	します。										
PL		たいのか)			ウエアにより、			を管理	里します。							
A					いますか。(主	なもの	5つまで)									
N		① 会議室・フ		の使用貸出	出の手続き ニュー											
	事業の	② 配置備品	の管理													
	活動内容	3														
		4														
		<u>⑤</u> 指標名	7	┧⇔┪	スは指標設定理	⊞фГ	単位		平成 29	左由	1 5	平成 30 年月	#	令和 1	年度	最終目標
		扫标	3		とは相信設定を			標	十八 29	十戊	-	一八 30 十八	克	令和 1	十戊	取於日保
	数値目標			担保設定		נאב		1 1示 ≧績								
	(事業の目的 及び活動内			127200	- 0			標								
	容の達成度							: i/s ::績								
	を測る指標)							標								
								€績								
	予算費目	会計		一般	会計		款 2	総務	S費	項	1	総務管理費		目 2	財産管理	里費
			4	·成 2	.9 年度決	算	平成	30	年度決算	令和	1	年度	7算		備考	
		国庫支出				千円			千円				千円			
			金			千円			千円				千円			
	直接事業費	<u>地 方</u>	債			千円			千円				千円			
D	正汉子不又	その他特定則				千円			千円				千円			
0		一般財	源			千円			千円				千円			
		計(A) 工聯号工業 4	▽単 ○	000		千円	0.000		0 千円	0.000			千円			
	人件費(B)	正職員工数·組 臨時·嘱託職		.200 人	1,186	十円	0.200 人		1,161 千円	0.200	人	1,208	十円			
	八計頂(日)	<b>邮时</b> 调	と个里													
		臨時·嘱託工数·	終書	人	0	千円	人		0 千円	1	人	0	千円			

					チェ	ック項目					_	-次評(	西		_	-次評価	の説り	明		二次	:評価	Б
		1.						、確保できる等 と響は大きくな		0	少なし	,	大きし	,١	会議室を に必要で	·効率的に す。	使用	するため	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政	犬況の中	、次年	度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある						0	ない	•	ある
	性							法等の改善の余		0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの上回るサート				隣自	治体と比較し	<i>、</i> てニーズを	0	いる	•	いなし	Α.					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現する	ために、	. 事業内容	『が必	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえな	い	いえる	5	職員であ	れば、グノ			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ンネリ化な	など、施	策への貢	献度な	が著しく高いと	<b>まいえない</b> 。	0	いえな	い 💿	いえる	5	す。	11 000000	н да диск	,	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の	中で類	似・重複	した	事務事業が存	在する。	0	する	•	しなし	١					0	する	•	しない
HE		4.	事業の継続	をしても	成果の	向上が期	待で	きない。		0	できな	<b>ι</b> •	できる	5					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進	捗状況	!が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて会	劣っている	3	目標を達す。	成できて	いると	思いま	0	目標に比	べて生	うっている
	達	2.	目標設定に対	対して成	果があ	まり上か	うて	いないと思う	0	0	あまり.	上がってし	いない		7 0				$\circ$	あまり上か	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概	ね目標	を達成し	てじ	いると思う。		0	概ね遺	を成してに	いる						0	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	対して十	分に目	標を達成	えして	いると思う。		•	十分達	産成して	いる						•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコスト	が高い	<b>\</b> <sub>0</sub>				0	高い	0	適当			ウェアの作められて			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主仰	本のノウ	ハウヤ	新たな制	痩を	活用できる。		0	できる	0	できた	۱Jį	<b>—</b> 17102	:07·5/10 C	0 6 7	0	0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員の	と成果の	関係で	、実施手	段等	を見直す余地	ぴある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	約方法の	変更な	どにより	コス	ト削減の余地	2がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
							次評	•				•					次評	•				
	評值	西点	必要性		沙性 4	達成原	<b></b>	効率性	総合評	価		必要	性	<b></b>	<b>与</b> 効性	達成	芰	効率	生	総	合評	产価
	全名	を の			<b>4</b> ● 現状	<b>4</b>		<b>4</b> 方法改善	A ○ 民間委詞	千筀	(		 大•充 <sup>s</sup>	<u></u>		<u>  4</u> ├維持		<u>4</u> 方法改き	<b>É</b>		<u>A</u> 引委記	<u></u> 纤笙
Λ		句性	○ 縮小	_	_	期設定		廃止/休止	<u> </u>					$\widehat{\bigcirc}$	統合/終		_	<u>////////////////////////////////////</u>		0 201		<u>.,</u>
A														二次	評価での		頁及(	ゾー次評	価と	の相違点	į	
TIO			職員以外の[ ティセンター				基準が	がないため、ア: -	ェルワ又は市均	場コミ		\$ JT 1 - 4	ち田 不言	±1	います。今	· 终 + `帝 工	红田	一奴みで	/+×+	1.		
N	وع	革案 実行 ·画	今後も継続的	りに進める	ます。						J.	<u> 9</u> 11 ⊂ [	当年で	<u>-</u> ((	いまり。ラ	をひ過止	官理	に労のし	NIE <b>C</b>	<b>'</b> 'o		
		員会  事項																				

	No. 6 —	10 基本事務事			事務	- First	事務事業	名 公月	用車管理	事務		公的関-	9 3 シ	ート作成日	令和1年	12月10日
	部局名		色画総務		課名		契約管財			果長名		坂東 明		-ト作成者名		野 幸広
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務				金•負担金			運営方法	✓ 1 値			<b>è部委託</b>
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持		<b>●</b> 6	6 内部的	管理事務		也	连舌刀丛		-部委託		甫助等
					、共につくる阿				実施計	-画				の開始・終う		
	総合計画				行財政運営(			0	1 該当		平月		<b>~</b> 令	和年	☑ 期間	設定なし
		主要施策	(2	)効率的で	き持続可能な則	才政運	営の推済	<b>進</b> 💽	2 非該当	当	根	処法令等				
		対象(誰を、 何を)	公用車													
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	効率的か	つ安全に使用	できる。	ようにしま	す。								
PL		たいのか)	, , , , , ,		つ安全に使用											
AN				舌動を行し	<b>ヽ</b> ますか。(主	なもの	5つまで	)								
N		① 公用車の														
	事業の	② 公用車の			∵備•修理											
	活動内容	③ 公用車の														
		4 自動車損			里手続)											
		⑤ 車輌の購														
		指標名	<u> </u>		ては指標設定理		単位		半成	29 年	F度	平成 30	7 年度	令和 1	年度	最終目標
	数値目標				になじまないた	-め		目標								
	(事業の目的			設定しない	ν' <sub>0</sub>			実績								
	及び活動内 容の達成度							目標 実績						_		
	を測る指標)							<u>天根</u> 目標								
								実績								
	予算費目	会 計					款	2 総利	条費		項	1 総務管	理費	目 2	財産管理	<b>連</b>
	, ,,,,,,,,,		그	<del>-</del> 成 2	9 年度決	算	平成	30	年度決	·算	令和		<b>丰度予算</b>		備考	
		国庫支出	金			千円	<u> </u>			千円			千円			
		県 支 出	金			千円				千円			千円			
	直接事業費	地 方	債			千円				千円			千円			
D	但按爭未其	その他特定則	オ源 コープログラ			千円				千円			千円			
0		一 般 財	源		8,678				15,455				千円			
		計(A)			8,678				15,455				<mark>7,481</mark> 千円			
	1 (1) <del>-11</del> (	正職員工数·網		.238 人	1,411	千円	0.238	١ .	1,382	千円	0.238		<mark>1,437</mark> 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職														
	A / I ·	臨時·嘱託工数·	経費	人		千円	,	١		千円	,		0 千円			
	全体事	業費(A+B)			10,089	千円			16,837	千円		18	<mark>3,918</mark> 千円			

					チェ	ック項目					_	-次評(	西		_	-次評価(	の説り	明		二次	評価	Б
		1.						が確保できる等 ジ響は大きくな		0	少なし	, ©	)大き	ŧ۱۱	安全・効 必要です	率的な公月 。	用車ℓ	)使用に	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政	犬況σ	つ中、次年	F度以降集	€施す	「る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある						0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の	向上の	)ために、	現在の手段	<b>设、方</b>	法等の改善の無	余地がある。	0	ある	•	ない	١					0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズ(上回るサー				「隣自	目治体と比較し	てニーズを	0	いる	•	いな	:11					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現す	けるために	、事業内容	字が必	がずしも適切とに	はいえない。	0	いえな	u O	いえ	.る	職員であ	れば、グルき状況のイ			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマ	ンネリ	化など、別	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	い 💿	いえ	.a	また、定規	朝的な整体	備によ	り安全	0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	る施領	後の中で 数	頁似・重複	夏した	- 事務事業が存	在する。	0	する	•	しな	い	性が催保	されてい	ます。		0	する	•	しない
HE		4.	事業の継続	をして	ても成果の	D向上が期	月待て	<b>ごきない</b> 。		0	できな	ι <b>(</b>	) でき	<b>3</b>					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に	対して	進捗状況	兄が劣って	こいる	らと思う。		0	目標に	比べて	劣ってし	いる	集中管理 解消され	により全 <sup>ん</sup>	体数(	の不足は	0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に	対して	で成果があ	あまり上か	うつて	こいないと思う	j <sub>o</sub>	0	あまり.	上がってロ	いない		一円年7日 ごりし	(0.43	•		0	あまり上か	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に	対して	で概ね目標	票を達成し	てし	いると思う。		0	概ね遺	を成してい	いる						0	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に	対して	て十分に目	目標を達成		こいると思う。		0	十分道	産成して	いる						•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べ	てコフ	ストが高し	١,				0	高い	0	適当	¥	効率的な減します。	運用によ	り、経	費を削	0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主	本のノ	/ ウハウヤ	5新たな制	刂度を	と活用できる。		0	できる	•	でき	ない	一成しより	0			0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員。	と成男	果の関係で	で、実施手	-段等	<b>手を見直す余</b> 地	也がある。	0	ある	•	ない	١					0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	約方法	よの変更な	よどにより	ノコス	スト削減の余地	也がある。	0	ある	•	ない	١					0	ある	•	ない
							次評	•• •				1			•		次評	•				
	評値	西点	必要性	1	有効性	達成	<b></b>	効率性	総合評	価		必要		1	与効性	達成	芰	効率	生	総	合評	<u>·</u> 価
	全征	を の	<b>4</b> ○ 拡大・対	<u> </u> 字宝		<u>       4   </u> 比維持	0	<u> <b>4</b> </u> 方法改善	A ○ 民間委詞	千等	{		大・充	<u> </u>		<u>【  4</u> ├維持		<u>4</u> 方法改善	<b>É</b>		A 引委記	千生
Λ		句性	○ 縮小	Ô	統合/終			<u> </u>	0 2014794					ÎÒ	統合/終		_	<u>////////////////////////////////////</u>		0 2015		<u>.,,</u>
AC													,	二次	評価での		頁及(	<b>ゾー次評</b>	価と	の相違点	į	
TIO								し、環境負荷 <i>の</i> 図っていく必要		ンエネ			<u>.</u>	⁄= \ <i>h</i> - ι'-	101- 3 do #	<b>まニ! </b>	L^+1 \					
N			管財担当でな	〉用車	iの一元管	理を継続	しまっ	<b>†</b> 。			Ā	凹で1	Τ ( ' -	平 次 に	的に入れ者	ぎんし (く)	( <b>50</b> 6)	0				
		員会 i事項																				

	No. 6 —	12 基本事務事業			事務	THIP!	事務事業名	5 庁舎	官話維持	管理	事務	公的関与	3 シ	一卜作成日		12月10日
	部局名	企	画総務		課名		<b>契約管財</b> 認	₹	主務課	長名		坂東 明	シー	−ト作成者名		野幸広
	事業区分	○ 1 ソフト事		0	3 経常的事務	务事業	<b>5</b>	補助st	金·負担金	▪支援	車 樂:	運営方法	✓ 1 値		3 3	全部委託
	争未应力	○ 2 ハード <sup>™</sup>			4 施設の維持	寺管理	0 6	内部管	き理事務・		<b>事</b> 未	<b>建</b>		-部委託		補助等
		基本構想(政策							実施計	画				の開始・終		
	総合計画	基本計画(施策							1 該当		平成		<mark>~</mark> 令	·和 <del></del>	=     期間	間設定なし
		主要施策	(1)	第2次農	業振興計画の	策定		<b>O</b>	2 非該当		根拠	l法令等				
		対象(誰を、 <sub>I</sub> 何を)	P電話シ	⁄ステム												
	事業の 対象・目的	目的(どうい)	最終的	電話機器	を正常に運用し	します。	,									
PL		たいのか)			の維持管理を											
AN		具体的にどの				なもの	5つまで)									
N		① IP電話シス		器保守業	<b>務</b>											
	事業の	②機器の維持														
	活動内容	③ 機器の適正	E配置													
		4														
		<b>⑤</b>		-  <i> -</i>		ш <del>д</del> Г	出上		T of the	00 Æ	· #	TI C 00	左曲	_ Ai⊓ a	左曲	
		指標名			ては指標設定理		単位	 目標	平成	29 #	· 及	平成 30	平及	令和 1	年度	最終目標
	数値目標			指標設定	になじまないた N	(%)		コ <u>(示</u> 実績								<del> </del>
	(事業の目的 及び活動内			11×12×1	0			<del>2順</del> 目標								
	容の達成度							<del></del> 実績								
	を測る指標)							<del>2.1g</del> 目標								
								<u> </u>								
	予算費目	会計		•			款				項			目		
			平	成 2	9 年度決	算	平成	30	年度決	算 2	令和	1 年	度予算		備考	
		国庫支出				千円			-	f円			千円			
			金			千円			:	戶円			千円			
	直接事業費		債			千円				f円			千円			
D	正汉于不良	その他特定財				千円				f円			千円			
0			源		559				559				568 千円			
		計(A)	7 ## 6	477	559		0.177		559		0.477		568 千円			
		正職員工数・経		177 人	1,050	千円	0.177 人		1,027	F円 (	0.177 人	, 1	<mark>,069</mark> 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職		, ,						- m	-		0			
		臨時·嘱託工数·約	全質	人	1,609	千円	<u>人</u>		0 -		人		<b>0</b> 千円			
	王冲争。	業費(A+B)			1,009	十円			1,586 ÷				<mark>,637</mark> 千円			

					チェ	ック項目					_	-次評	価		_	-次評価の	の説明	明		二次	評価	Б
		1.						が確保できる等 ジ響は大きくな		0	少なし	γ (C	)大	きい		保する必の保守は			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政権	犬況の中、	次年	度以降実	施す	トる緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	) ある	3					0	ない	•	ある
	性							法等の改善の急		0	ある	•	なし	Ŋ					0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサーt				隣自	目治体と比較し	ノてニーズを	0	いる	C	いた	ない					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するため	めに、	事業内容	『が必	がずしも適切とは	はいえない。	0	いえな	il (	いわ	える	機構改革対応でき	による組i ます。	織の変	変更にも	0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ンネリ化なと	:、施	策への貢	献度な	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	il 🧿	いわ	える	7170 CC	67.			0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中	で類	[似・重複	した	上事務事業が存	存在する。	0	する	•	した	はい					0	する	•	しない
HE		4.	事業の継続る	をしても成	果の	向上が期	待て	<b>ごきない。</b>		0	できな	il (	でき	きる					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗	状況	が劣って	いる	ると思う。		0	目標は	こ比べて	劣って	いる	機器更新います。	i後問題な	く運用	目できて	0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果	があ	まり上が	うて	こいないと思う	j <sub>o</sub>	0	あまり.	上がって	いない	١	0.49.				0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね	目標	を達成し	てし	いると思う。		0	概ね道	主成して	いる						0	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	対して十分	に目	標を達成	えして	こいると思う。		•	十分道	達成して	いる						•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストが	高い	٠,				0	高い	0	適:	当	IP化によ	り、将来的っています		効なシス	0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウハ	ウや	新たな制	度を	と活用できる。		0	できる	5 @	) でき	きない	י אביש	760.49	0		0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	ヒ成果の関	係で	、実施手	段等	<b>手を見直す余地</b>	也がある。	0	ある	•	ない	۱,					0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	約方法の変	更な	どにより	コス	スト削減の余地	かある。	0	ある	•	なし	۱,۱					0	ある	•	ない
							次評	•• •							•		次評					
	評値	西点	必要性	有効性	ŧ	達成原	<b></b>	効率性	総合評	′価		必要		1	<mark>有効性</mark> 4	達成原	芟	効率┃	生	総	合評	·価
	今後	を の	<del>4</del> ○ 拡大·充	<u> </u>	<u></u> 現状	4 :維持		<b>4</b> 方法改善	A ○ 民間委詞	托等	(		· 大·3	 充実	<del></del>	<u>4</u>     維持		<u>4</u> 方法改善	<u></u>	〇民間	A 【委】	 迁等
A		句性	○ 縮小			期設定		廃止/休止		<u> </u>	_	<ul><li>縮</li></ul>		ÎÒ	統合/終			廃止/休				
C														二次	評価での	)指摘事項	頁及で	<b>ゾー次評</b>	価と	の相違点	į	
TIO		面の!題	庁舎移転後対	対象機器が	増加	しています	ナので	で、維持管理の	適正管理に努	めま	す。											
N	ᇔ	革案									— i	適正に	管理	できて	います。今	後も維持	管理	こ努めて	くださ	い。		
	وع	-	今後も維持管	管理に努める	ます。																	
		員会  事項									-											

	No. 6 —	13 基本事務事	業名 本月	广舎管理	事務	事務事業	業名 庁舎	<b>舍修繕事務</b>		公的関与 3	シー	-卜作成日		₹7月31日
	部局名		È画総務 <sup>·</sup>	部	課名	契約管則	け課	主務課長	名	坂東 明		卜作成者名		睪 正彦
	事業区分	○ 1 ソフト?			3 経常的事務事			金•負担金•支		運営方法	1 直			部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持管	理	6 内部管	管理事務・その	)他 The state of the state of	(建名力丛)		部委託	4 裤	亅
					、共につくる阿波			実施計画				D開始·終了		
	総合計画	基本計画(施			ネ行財政運営の推			1 該当	平成		令利	I 年	期間	設定なし
		主要施策	(3)	公共施設	设の総合的な管理	の推進	<u> </u>	2 非該当	根	処法令等				
		対象(誰を、 何を)	本庁舎											
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	機能や美	観を維持します。									
PL		たいのか)	, , , , , ,		fの修繕等を行いま									
AN					いますか。(主なも	の5つまつ	で)							
N		① 庁舎設備	の修繕(	外構含)										
	事業の	2												
	活動内容	3												
		4												
		<u>5</u>	<del>7</del>	=   <i>5</i> 5	ᄀᄼᅪᆉᅛᄪᆖᇌᄼᅼᅚᄜᆉ	出土		파란 oo	左曲	파란 oo 左	<del>:.</del>	A1⊓ 4	左曲	
		指標名	<u>Ď</u>	計昇丸〉	スは指標設定理由	単位	目標	平成 29	午	平成 30 年	<b>支</b>	令和 1	年度	最終目標
	数値目標						実績							
	(事業の目的 及び活動内						<u>大</u> 惧							
	容の達成度						実績							
	を測る指標)						目標							
							実績							
	予算費目	会 計		一般	会計	款	2 総新	务費	項	1 総務管理費		目 2	財産管理	里費
			平	成 2	9 年度決算	平成	30	年度決算	令和	1 年度 <sup>-</sup>	<b>予算</b>		備考	
		国庫支出	1 金		千円			千円			千円			
		県 支 出	金		千円			千円			千円			
	直接事業費	地 方	債		千円			千円			千円			
D	但该于木具	その他特定則			千円			千円			千円			
0		一 般 財	源		千円			千円			千円			
		計(A)	4= -th		1,387 千円			470 千円		3,600				
	L // # /->	正職員工数:		286 人	1,696 千円	0.286	人	1,660 千円	0.286	1,727	千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職						0						
		臨時·嘱託工数·	·経質	人	0 千円 0 000 元 円		人	0 千円	)		千円			
	王14年3	業費(A+B)			3,083 千円			2.130 千円		5.327	十円			

				チ	ェック項目					-	次評值	<b>5</b>		_	-次評価(	の説明	明		二次	.評佰	Б
		1.					が確保できる等 影響は大きくな		0	少ない	•	大きし	い	繕箇所は	成して間 少ないが	、庁舎	宇管理し		少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、次	年度以降到	実施す	する緊急性が認	ぬられない。	0	ない	0	ある			で必要とすいては修			0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の	向上のために、	現在の手具	没、力	方法等の改善の発	余地がある。	0	ある	•	ない		部がにつす。	いては惨	揺りり	必安で	0	ある	•	ない
		4.		の低下がみら ごスとなって		丘隣自	自治体と比較し	<b>ノてニーズを</b>	0	いる	•	いなし	۸,					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	こ、事業内容	容が必	がずしも適切とい	<b>はいえない</b> 。	0	いえなし	,	いえる	3		って利便性			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ンネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなし	,	いえる	3	す。	771 <b>-</b> (1911	1 17 C	110 00	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中で	類似・重複	复し <i>†</i> :	と事務事業が存	在する。	0	する	•	しなし	,١					0	する	•	しない
HE		4.	事業の継続る	をしても成果	の向上が期	期待で	できない。		0	できなし	,	できる	3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状	況が劣って	ている	ると思う。		0	目標に	比べて多	片ってい	る	必要な部 修繕して	分は、予	算の筆	節囲内で	0	目標に比	べて劣	うっている
	達	2.	目標設定に対	対して成果が	あまり上た	がって	ていないと思う	, .	0	あまり上	がってし	いない		砂幅して	0.430			0	あまり上か	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目	標を達成し	してし	いると思う。		0	概ね達	成してに	いる						0	概ね達成	してい	る
	,	4.	目標設定に対	対して十分に	目標を達成	戊して	ていると思う。		0	十分達	成してい	いる						•	十分達成	してに	る
		1.	効果に比べて	てコストが高	ر۱°				0	高い	•	適当		業務に支います。	障がない	ように	努めて	0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウハウ	や新たな制	削度を	を活用できる。		0	できる	0	できた	ない	0.000				0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	と成果の関係	で、実施	手段等	<b>等を見直す余</b> 地	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	約方法の変更	などにより	ノコフ	スト削減の余地	しがある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
						·次評					•			•		次評	•				
	評値	五点	必要性	有効性	達成	度	効率性	総合評	価		必要	性	1	<b>有効性</b>	達成	芰	効率	生	総	合評	描
	今後	を の	<b>4</b> ○ 拡大·充	<mark>  4</mark> E実   ● 現	<u>  3</u> 状維持	ТО	<u> <b>4</b> </u>	A ○ 民間委詞	壬等		<u>4</u> )拡充	<u>_</u> 大 · 充 ˈ	<u></u>		<u>      4   </u> 比維持		<u>4</u> 方法改善	Ė		<u>A</u> 引委記	 托等
A		9性	○ 縮小		終期設定	ŏ	廃止/休止		<del></del>				Ô	統合/終			廃止/休				
C				•								=	二次	評価での	)指摘事项	頁及で	ゾー次評	価と	の相違点	į	
Ţ	当可課	題	今後は修理よ	よりも市民等か	らの要望に	こよる	ものが増加する	ると予想されま	す。												
0	H/I	~=								攸	4第1一一	ハノブ	計画	めに行って	てください。						
N		享	心而しわり枚	<b>ダルケケ</b>							7倍1〜 -	J	11四	כ'נן בועם	C \ / 2 @ 6 10	0					
	計		必要となる修	一倍は毋午度で	」いまり。 																
		員会 事項																			

	No. 6 —	14 基本事務事			選定事務	1	事務事業	名指定	定管理者選!	定事務	务	公的関与	3 シ	一卜作成日		12月10日
	部局名		画総務		課名		契約管財		主務課		切	東明		-卜作成者名		野 幸広
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務				金·負担金·		車業温	堂方法 -	/ 1 直			部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持		<b>●</b> 6	的 内部 <sup>6</sup>	管理事務・そ		<b>学</b> 未进	10円		·部委託		亅
					、共につくる阿				実施計画	Ī				の開始・終		
	総合計画				ちづくりの推っ				1 該当		平成	年~	<mark>~</mark> 令	和 年	□ 期間	設定なし
		主要施策	(1)	多様な分	}野における参	対・画・	茘働の促:	進   〇	2 非該当		根拠	法令等				
		対象(誰を、 何を)	公の施設	との管理者												
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的		者制度を導入する ま用しつつ、市								、公のカ	施設の管理に	三民間の能:	カやノウハウ
PL		たいのか)	今年度	指定期間	終了施設の更	新										
AN					いますか。(主	なもの	5つまで	)								
N		① 指定管理														
	事業の	② 業務委託	等の募集	₹•発注事績	<b></b>											
	活動内容	3														
		4														
		5		I = 1 ++ 1 -		- I	*** **		— .b		_	<b>-</b> - 12		A 7-	<i>-</i> -	
		指標名	<u> </u>	計算式人	スは指標設定理	里田	単位	□ <del> </del> #=	平成 2	9 年		平成 30 年		令和 1		最終目標
	数値目標	指定管理者導入的	拖設数					目標 実績			67 67		67 67		67	
	(事業の目的 及び活動内							<u>天碩</u> 目標			07		07			
	双の活動内 容の達成度							実績								
	を測る指標)					-		目標								
								実績								
	予算費目	会 計				<u> </u>	款				項			目		
			平	-成 2	19 年度決	算	平成	30	年度決算		令和	1 年度	予算		備考	
		国庫支出	金			千円			千	円			千円			
		県 支 出				千円			千	円			千円			
	直接事業費	地 方	債			千円			チ	円			千円			
D	但该于木具	その他特定則				千円			Ŧ				千円			
0		一般財	源		50				191 <del>T</del>	_			0 千円			
		計(A)	<b>7</b> + 1	200	50		2 2 2 2		191 千				0 千円			
		正職員工数·網		296 人	1,755	千円	0.296	\	1,718 千	円 0.	).296 人	1,78	7 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職		-		- F		ı	0 -		r		0			
		臨時·嘱託工数·	<b>社</b> 質	人	1,805	千円	,		0 <del>1</del>		人		<mark>0</mark> 千円			
	王冲争。	業費(A+B)			1,805	十円			1,909 <del>千</del>	H		1,/8	7 千円			

					ェック項目					_	·次評ſ	西		_	-次評価(	の説	明		二次	:評価	<u> </u>
		1.					が確保できる等 ジ響は大きくな		0	少ない	· •	大き	ŧ۱۱	積極的に す。	推進する	必要	がありま	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政	<b>伏況の中、次</b>	年度以降実	施す	「る緊急性が認	思められない。	0	ない		ある						0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の	向上のために、	現在の手段	3、方	法等の改善の	余地がある。	•	ある	0	ない	١					0	ある	•	ない
		4.		の低下がみら ビスとなって		[隣自	治体と比較し	ノてニーズを -	0	いる	•	いな	:11					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	二、事業内容	『が必	ずしも適切とに	<b>まいえない</b> 。	0	いえな	い ()	いえ	.る	積極的に	推進する	必要	がありま	0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ンネリ化など、	施策への貢	献度な	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	い 💿	いえ	.る	, 。				0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中で	類似・重複	した	- 事務事業が存	存在する。	0	する	•	しな	い					0	する	•	しない
HE		4.	事業の継続	をしても成果	の向上が期	待で	<b>ごきない</b> 。		0	できな	い <b>(</b>	でき	3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状	況が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて	劣ってし	いる		の効果、調			0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果が	あまり上が	うて	いないと思う	<b>;</b> 。	0	あまり_	Lがってl	ハない		し等人し	C0.1%3	, IS - (V)	7690	0	あまり上か	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目	標を達成し	てじ	いると思う。		0	概ね達	成してに	いる						0	概ね達成	してい	<b>3</b>
		4.	目標設定に対	対して十分に	目標を達成	えして	いると思う。		0	十分遺	産成して	いる						•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストが高	い。				0	高い	•	適当	¥		、により、E サービス[			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主任	体のノウハウ	や新たな制	度を	た活用できる。		•	できる	0	でき	ない	運営の対				0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員の	と成果の関係	で、実施手	段等	Fを見直す余 <sup>地</sup>	也がある。	0	ある	0	ない	١					0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	約方法の変更	などにより	コス	く ト削減の余地	也がある。	0	ある	0	ない	١					0	ある	•	ない
						次評	• •									次評					
	評值	西点	必要性 3	有効性	達成原	芰	効率性 3	総合評	価		<u>必要</u> 4	性	1	<mark>有効性</mark> 4	達成 4	芰	<u> </u>	生	総	合評	価
	今往	後の	○ 拡大·ź		十 <u></u> 状維持		<u> </u>	A ○ 民間委詞	毛等	(		大・充	<u></u> 実	<del></del>   ● 現状		П	<del></del> 方法改善	Ė	〇民間	A 引委記	<del>.</del>
A		句性	○ 縮小	_	<b>冬期設定</b>		廃止/休止		<u> </u>	_	) 縮		O	統合/終		_	廃止/休				
C													二次	評価での	指摘事項	頁及(	ゾー次評	価と	の相違点	į	
Ţ							、市民の満足 認していく必要		ること	<u> </u>											
ON											ままのま	取旨に	-طر‡	づいて管理	単運営して	くださ	دل،				
N	改選 と第 計		モニタリング fi 評価を行いま		運用し、指兌	官管理	里者が行う自己	,評価や、市が	行う年				-								
		当会																			
		₹  事項																			

	No. 6 —				各申請審査事	務 事務	務事業名	│入柞	L参加資	各申請	審査事	務	公的関与 2	シート	作成日	令和		0月21日
	部局名		<b>直総務</b>	-	課名		<b>的管財</b> 課		主務調			坂			<b>F成者</b> 名		前仲	
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務				金•負担金			と 油	営方法   💆				3 全部	
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持	管理	<u> </u>	<b>为部</b> 律	<b>管理事務</b>		他	大连		2 一部			4 補助	]等
		基本構想(政		当なし					実施計	·画			事		開始∙終			
	総合計画	基本計画(施						0	1 該当		平月		17 <mark>年 ~</mark>	令和	白	E 🗸	期間設	定なし
		主要施策						<b>O</b>	2 非該当	<u> </u>	根	拠法	大令等 地方自治	治法施行令	第167条(	か5第1項	及び第167	7条の11第2項
		対象(誰を、 何を)	入札参加	加資格審査 -	申請書提出業者	<b></b>												
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的		内容を審査し、 的で迅速な名簿													
PL		たいのか)	今年度	・ より効率的	内容を審査し、 的で迅速な名簿	確定方法	よへの改	こ登載 善を模	します。 食討します	0								
AN					<b>ヽ</b> ますか。(主な													
N		)			査(1月中旬から	受付開始	台予定)											
	事業の	② 入札参加																
	活動内容	③ 業者格付																
		)	-		ら受付開始予定	<u> </u>												
		)			届受付(随時)				<b>—</b> -	4					A T-			
		指標名	<u> </u>	く 正 東	スは指標設定理	由単	_	1 J#F	平成	29 f	‡度	7	F成 30 年度	*	令和 1	年度	į	<b>最終目標</b>
	数値目標			指標設定	になじまないた。	め		標									_	
	(事業の目的							ミ績 目標										
	及び活動内 容の達成度							╛ <u>(示</u> ≧績									_	
	を測る指標)							<u>₹限</u> ]標						_			_	
								<u>11示</u> €績									_	
	予算費目	会 計			会計	l l	款 2		総務領	<b>小</b>	項	1	総務管理	費	目 2	)	財産管	理費
			2	P成 2		算 平		30	年度決	_	令和	1	年度予算			備		
		国庫支出	金		∃	f円				千円			∃	千円				
		県 支 出	金		7	千円				千円			7	戶円				
	直接事業費	地 方	債		Ŧ	千円				千円			7	円				
D	但按爭未貝	その他特定則	オ源 コープログラ		Ŧ	<b>千円</b>				千円			Ŧ	戶円				
0		一 般 財	源		475 =				9,448	千円			484 =	戶円				
		計(A)			475 =				9,448					戶円				
		正職員工数·網		.000 人	5,930	f円 1.0	000 人		5,805	千円	1.000	人	6,038	一円				
	人件費(B)	臨時·嘱託職			_													
	A /I -	臨時·嘱託工数·	経費 0	.000 人	0 =		000 人			千円	0.000	人	0 =					
	全体事	業費(A+B)			6,405	千円			15,253	千円			6,522	一円				

				ック項目				一次	評価		_	-次評価の	D説明			二次	評価	í
		1.	市が実施しなくても、公平 主体があり、事業を廃止・				0	少ない	• :	大きい	入札業者とされます	の選定に す。	は、必	ず必要	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年	度以降実施す	る緊急性が認	思められない。	0	ない	<b>O</b> (	ある					0	ない	•	ある
	性		住民満足度の向上のために、現				0	ある	<b>O</b> 7	ない					0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの低下がみられ 上回るサービスとなってい		治体と比較し	ノてニーズを	0	いる	•	いない					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実現するために、	事業内容が必	ずしも適切とに	<b>まいえない</b> 。	0	いえない	•	いえる	入札の公です。	平性を図	るため	に有効	0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマンネリ化など、施	策への貢献度が	が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	0	いえる	C 9 o				0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する施策の中で類	[似・重複した	事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない					0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続をしても成果の	向上が期待で	きない。		0	できない	•	できる					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対して進捗状況	が劣っている	と思う。		0	目標に比	べて劣っ	ている	厳正に書 ます。	類審査等	を実施	してい	0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対して成果があ	まり上がって	いないと思う	j <sub>o</sub>	0	あまり上か	べっていな	ili	<b>Д</b> 9 °				0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標	を達成してい	いると思う。		0	概ね達成	している	,					0	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対して十分に目	標を達成して	いると思う。		•	十分達成	している	5					•	十分達成	してい	3
		1.	効果に比べてコストが高い	٠,			0	高い	<b>(</b> )	適当		び近隣市ながら、よ			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体のノウハウや	新たな制度を	活用できる。		0	できる	<b>O</b> .	できない	理できる				0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と成果の関係で	、実施手段等	を見直す余地	<b>也がある</b> 。	0	ある	• 7	ない					0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約方法の変更な	どによりコス	ト削減の余地	しがある。	0	ある	<b>O</b> 7	ない					0	ある	•	ない
				一次評	·価						•	_:	欠評価	<u> </u>				
	評化	甲	必要性有効性	達成度	効率性	総合評	価	Į.	<b>必要性</b>	: 7	有効性	達成原	Ŧ	効率性	生	総	合評	価
	<b>△</b> ½	を の	4   4   0 現状 ○ 拡大·充実   ● 現状	<b>4</b> :維持 ┃ 〇	<b>4</b> 方法改善	A ○ 民間委i	千笙	0	<u>4</u> 拡大	<u> </u> •	<b>4</b>   ● 現状	<u>4</u> に維持	$\bigcirc$ $\mathcal{I}$	<u>4</u> 5法改割	É	○ 民間	A 表記	1年
		句性	○ 縮小 ○ 統合/終		<u>////////////////////////////////////</u>	〇 民间安日	<del></del>	<u> </u>	縮小		統合/終			<u> </u>			134	
C			C THE C THE T						-11111		評価での					の相違点		
ACTIO		面の 題	1 参加者名簿の確定期間の 2 申請書、添付書類の簡素・					油 油 江	か車系	冬劫 行か	ぶなされてい	/まま み;	盖すべ	・キレニス	.(+≥⁄5	姜に奴め	T ( +	ニナハ
Ň	と 計	草案 実行 画	上記課題を改善できるよう、ヨ	現状を正しく把	握し、改善方法	まを検討してきる	ます。		- ' 6	7. TV 1 1 73	-SC40 C0	670 W	<b>□</b>		716 UX	_ IC	C \1/.	
		員会 i事項																

	No. 6 —	16 基本事務事			務		事務事業	名電	子入札事務			公的関与	2 5	ノート作成日	令和元年	年10月21日
	部局名	企	全画総務	·部	課名		契約管則	才課	主務課長	:名	切	東明		一卜作成者名		中 恭介
	事業区分	○ 1 ソフト?		0	3 経常的事				金・負担金・支		車業温	営方法	-	直営		È部委託
	争未色力	○ 2 ハード		0	4 施設の維			6 内部	管理事務・そ	の他	尹未足	古刀丛		一部委託		輔助等
					基盤が整った	:阿波			実施計画					業の開始∙終了		
	総合計画	基本計画(施						<b>•</b>	)1 該当		平成	17 年	<mark>~</mark> 수	う和 年	☑ 期間	設定なし
		主要施策	(2)	)行政内部	『のICT環境の	か充実	₹	C	)2 非該当		根拠	去令等				
		対象(誰を、 何を)	建設工事		建設コンサルタ											
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的		)電子入札対象 的で迅速な方											
PL		たいのか)	今年度	より効率	度の電子入村 的で迅速な方?	去への	改善を検	討してし	ご行います。 <b>いき</b> ます。							
AN		具体的にどの		— .				·)								
N					業務委託案件											
	事業の								[料、入札結果]	)						
	活動内容	<u> </u>		での開札	処理(指名通知	発送	、開札処理	<u>E)</u>								
		4 入札制度		2 ^ <i>tt</i> = 00	2 /14											
		5 建設工事				ᅲᇞᆂᅵ	32 /T			/ <del>-</del>	-	T- C - 0.0	左击		左应	
		指標名	<u> </u>		又は指標設定		単位	目標	平成 29	午及		平成 30	午	令和 1	年度	最終目標
	数値目標			指標設定	こになじまないか	٥	-	<u>日保</u> 実績								
	(事業の目的 及び活動内			<i>0</i> 7°				目標								
	容の達成度						-	実績								
	を測る指標)							<u></u>								
								実績								
	予算費目	会計		一般	会計	•	款	2 総	務費		項 1	総務管理	里費	目 2	財産管理	里費
			म	ヹ成 2	!9 年度決	算	平成	30	年度決算	令	和	1 年	度予算		備考	
		国庫支出				千円			千円	}			千円	1		
		県 支 出	金			千円			千円	_			千円			
	直接事業費	地 方	債			千円			千円	_			千円			
D	匹汉于不及	その他特定則				千円			千円				千円			
0		一般財	源		2,271				2,325 千円				341 千円			
		計(A)	∕▼ 建	CEO I	,	千円	0.050		2,325 千円	1000	250		3 <b>41</b> 千円			
	人件費(B)	正職員工数:		.650 人	3,854	十円	0.650	<u>۸</u>	3,773 千円	0.6	550 人	3,	<mark>924</mark> 千円	1		
		臨時·嘱託崩 臨時·嘱託工数·		.000 人	0	千円	0.000	<del></del>	<b>0</b> 千円	1 00	000 人		0 千円	1		
		紫費(A+B)	作员 U	.000 人	6,125		0.000	^	6,098 <del>1</del> F		// //		265 千円			

				チ	ェック項目					_	次評值	<b>5</b>		_	-次評価(	の説	明		二次	評価	i
		1.					、確保できる等 ジ響は大きくな		0	少ない	•	大きし	い	会場に来	で (入札参) る手間が			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政料	犬況の中、次	年度以降実	ミ施す	「る緊急性が認	思められない。	0	ない	•	ある		ます。				0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の	向上のために、	現在の手段	设、方	法等の改善の余	余地がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.		D低下がみら ごスとなって		「隣自	治体と比較し	ノてニーズを -	0	いる	•	いなし	Į,\					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	二、事業内容	学が必	ずしも適切とに	<b>まいえない</b> 。	0	いえなし	,	いえる	3	入札の公です。	や性を図	るたと	かに有効	0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	シネリ化など、	施策への貢	献度な	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなし	,	いえる	3	C 7 °				0	いえない	•	いえる
CH	性	3.	市が実施する	る施策の中で	類似・重複	夏した	事務事業が存	存在する。	0	する	•	しなし	,١					0	する	•	しない
E		4.	事業の継続る	をしても成果	の向上が期	明待で	<b>ごきない。</b>		0	できなし	,	できる	3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状	況が劣って	こいる	と思う。		0	目標に	比べて多	片ってい	る		の現状もな電子入			0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果が	あまり上か	うって	こいないと思う	<b>;</b> 。	0	あまり上	がってし	ない		討してい		46 <b>0</b> 22	コムと伝	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目	標を達成し	てし	いると思う。		0	概ね達	成してし	る						0	概ね達成	してい	<b>3</b>
		4.	目標設定に対	対して十分に	目標を達成	えして	こいると思う。		•	十分達	成してに	いる						•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストが高	い。				0	高い	•	適当		関係者と	協議しなった。			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハウ	や新たな制	度を	た活用できる。		0	できる	0	できた	はい	1 3 0 7 3 72			. , 0	0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員の	ヒ成果の関係	で、実施手	-段等	₹を見直す余 <sup>地</sup>	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	的方法の変更	などにより	リコス	く ト削減の余地	也がある。	0	ある	0	ない						•	ある	0	ない
						次評	• •									次評	•				
	評值	西点	必要性 4	有効性	達成[	芰	効率性 4	総合評	価		必要	性	4	<u> </u>	達成 4	芰	<u> </u>	生	総	合評	価
	今後	後の		•	_ <del></del> 状維持	0	<del></del> 方法改善	A ○ 民間委詞	£等		_	 大 · 充:	実				<u></u>	Ė.	〇 民間	A 『委』	£等
A		句性	○ 縮小		冬期設定		廃止/休止		<u> </u>		- 7.		Ō	統合/終			廃止/休				
C												-	二次	評価での	指摘事.	頁及で	ゾー次評	価と	の相違点	į	
<b>H-0</b>							理が追いつか ハく必要があり		より交	徳		Dシス <del>-</del>	テム:	を活用し、	適正な事	務が	執行され <sup>-</sup>	ていま	₹す。今後	も継	続してく
N	-	草案 官行 画	上記課題を改	対善できるよう	現状を正し	_く把	握し、改善方法	まを検討してきる	ます。		さい。										
		員会 i事項																			

	No. 6 —	21 基本事務事	業名本戶	广舎管理事	事務	事務事	業名 庁舎	舎維持管理事:	務	公的関与 3	シ	一ト作成日		年7月31日
	部局名	企	e画総務	部	課名	契約管則		主務課長		坂東 明		-ト作成者名	枝	睪 正彦
	事業区分	○ 1 ソフト?		0	3 経常的事務事	業	5 補助:	金·負担金·支	援	美運営方法	」1 直		✓ 3 全	È部委託
	争未区力	○ 2 ハード	, ,,,		4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務・その	)他	足呂刀仏		-部委託		輔助等
					共につくる阿波			実施計画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施			行財政運営の批			1 該当	平月					設定なし
		主要施策	(3)	公共施設	の総合的な管理	里の推進	<b>(</b>	2 非該当	根	拠法令等 消	防法、强	建築物衛生法、	浄化槽法	、電気事業法
		対象(誰を、 何を)	阿波市役	於所庁舎										
		目的(どういう状態にし	最終的	美観を維持	寺し機能を十分に	発揮させま	す。							
PL		たいのか)			に努めます。									
AN					ますか。(主なも	の5つま	で)							
N		① 保安警備			)点検・管理)									
	事業の	② 浄化槽維		-										
	活動内容	0			備の保守業務									
		4 建物·設值	帯の瑕疵	検査等										
		5	-			22/11			<del></del>	T + /-	_	A T		
		指標名	<u> </u>	計算式又	.は指標設定理由	単位		平成 29	年度	平成 30 年	·	令和 1	年度	最終目標
	数値目標						目標 実績							
	(事業の目的 及び活動内						<del>天</del> 碩_ 目標							
	双の活動内 容の達成度						実績		+					
	を測る指標)						目標							
							実績							
	予算費目	会 計		一般:	会計	款	2 総	<b></b> 務費	項	1 総務管理費	ŧ.	目 2	財産管理	里費
			平	成 29	年度決算	平成	30	年度決算	令和	1 年度			備考	
		国庫支出	金		千円	3		千円			千円			
		県 支 出			千円	3		千円			千円			
	直接事業費	地 方	債		千円	3		千円			千円			
D	但按爭未其	その他特定則	<b>け源</b>		千円	3		千円			千円			
0		一 般 財	源		40,000 千円			36,180 千円		36,51	5 千円			
		計(A)			40,000 千円			36,180 千円		36,51				
		正職員工数·		585 人	<mark>3,469</mark>	0.585	人	3,396 千円	0.585	人 3,53	2 千円			
		臨時·嘱託聯		-										
		臨時·嘱託工数·	経費	人	<b>0</b> ∓₽		人	0 千円			千円			
	全体事業	集費(A+B)			<b>43,469</b> 千円	3		39.576 千円		40.04	7 千円			

					チェ	ック項目					_	次評值	Щ		_	-次評価	の説	明		二次	評価	li .
		1.						が確保できる等 彡響は大きくな		0	少ない	•	大きし	۸,	定の環境	)日常点核 意測定等維		守及び法 理が必	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政	犬況の	中、次年	F度以降実	[施す	「る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある		要です。				0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の	向上の	ために、	現在の手段	设、方	法等の改善の無	余地がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの上回るサート				[隣自	目治体と比較し	てニーズを	0	いる	•	いなし	۱,					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現す	るために	、事業内容	₹が必	がずしも適切とに	はいえない。	0	いえなし	,	いえる	3		常に清潔施します。		態に保つ	0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ンネリ	化など、旅	施策への貢	献度な	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなし	,	いえる	3	72071230		5		0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策	の中で類	頁似・重複	更した	上事務事業が存	存在する。	0	する	0	しなし	.1					0	する	•	しない
HE		4.	事業の継続	をして	も成果の	)向上が期	待て	<b>ごきない</b> 。		0	できなし	,	できる	5					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して	進捗状況	兄が劣って	こいる	ると思う。		0	目標に	比べて多	劣ってい	る	維持管理 実施して		づき	点検等を	0	目標に比	べて生	っている
	達	2.	目標設定に対	対して	成果があ	ちまり上か	うて	こいないと思う	j <sub>o</sub>	0	あまり上	がってし	いない		大心して	0.490			0	あまり上か	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して	概ね目標	票を達成し	てし	いると思う。		0	概ね達	成してに	いる						0	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	対して	十分に目	目標を達成	えして	こいると思う。		0	十分達	成してい	いる						•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコス	ことが高い	١,				0	高い	0	適当		庁舎及び	防災拠点現する事			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主任	本のノ	ウハウギ	り 新たな制	度を	た活用できる。		•	できる	0	できた	はい	率化やコ				0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員の	と成果	の関係で	き、実施手	段等	<b>手を見直す余地</b>	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	的方法	の変更な	こどにより	リコス	スト削減の余地	也がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
							次評	•• •									次評	•				
	評値	西点	必要性 4	1	与効性 4	達成原	芟	効率性	総合評	価		必要	性	4	<mark>与効性</mark> 4	達成.	度	効率	生	総	合評	-価
	今後	を の		 下実	● 現状	<u>      3   </u> 犬維持	0	<u>       3         </u> 方法改善	A ○ 民間委詞	£等			 大 · 充	実			О	<b>4</b> 方法改善	<u></u>		A 【委】	 £等
A		句性	○ 縮小		統合/終			廃止/休止		<u> </u>				Ò	統合/終			廃止/休				
C													=	二次	評価での	)指摘事]	頁及(	ゾー次評	価と	の相違点	į	
TIO			施設を維持し 必要がありま		くためには	、アエルワ	7指定	官管理者との打	ち合わせを頻	繁にで												
Ň			今後も受託第	き者との	の協議を፤	重ね維持管	き理を	を行います。			維	持管理	里を計し	画的	に行ってく	ください。						
		員会 i事項																				

	No. 6 —				<b>ヘジメント事業</b>	事務事	業名 公	共施設マネ	ジメン	小事業	公的関与 :	3 シ	一卜作成日		年12月19日
	部局名		<b>È画総務</b>		課名	契約管		主務課			反東 明		-卜作成者名		训 学
	事業区分	○ 1 ソフト?	-		3 経常的事務			金·負担金		_ ¥ ¥ -	運営方法 📙	-	営		<b>全部委託</b>
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持領		6 内部	管理事務·			生 古 刀 仏		-部委託	□ 4 *	甫助等
					、共につくる阿波			実施計	画				の開始・終了	•	
	総合計画				行財政運営の		<u> </u>	1 該当		平成	26 年 🥕	<mark>~</mark> 令	和年	□期間	設定なし
		主要施策	(3	)公共施設	との総合的な管理	理の推進	0	2 非該当		根拠	法令等				
		対象(誰を、 何を)	公共施言	没及びイン	フラ施設										
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	数量適正	化、施設長寿命化	Έ									
PL		たいのか)	今年度	· 旧市場学	等総合管理計画 校給食センターを	とはじめとす	る遊休施	計画の推通 設の利活用	É 見の推進	進					
AN					<b>ヽ</b> ますか。(主な:										
N					管理に関する総合	合的な計画	策定と運	用推進							
	事業の	② 遊休施設	等につい	いての利活	用の推進										
	活動内容	3													
		4													
		5	_								_		A ==		
		指標名	<u>K</u>		(は指標設定理)	由 単位	- I	半成	29 年	- 度	平成 30 年	-	令和 1	年度	最終目標
	数値目標			指標設定  め、設定し	になじまないた		目標								
	(事業の目的			め、設定し	ンない		実績								
	及び活動内 容の達成度						目標 実績								
	を測る指標)						日標								
							実績								
	予算費目	会 計			会計	款		<b></b> 務費		項 1	総務管理	<b>事</b>	目 2	財産管理	<b>連</b>
	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		2	区成 2			30	年度決	算	令和	1 年度			備考	
		国庫支出	金	·	千				千円			千円			
		県 支 出	金		千	T)			千円			千円			
	直接事業費	地 方	債		千	P)			千円			千円			
D	但按争未負	その他特定則	<b></b> 排源		チリ	円			千円			千円			
0		一 般 財	源		2,711 ∓	円		475	千円			0 千円			
		計(A)			<b>2,711</b> 千日			475				10 千円			
		正職員工数·		.250 人	<b>1,482</b> 千日	円 0.250	人	1,451	千円 (	0.250 人	1,50	9 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職													
		臨時·嘱託工数·	·経費	人	<b>0</b> 千		人	0		人		10 千円			
		業費(A+B)			<b>4,193</b> 千日	Ш		1,926	千円		1.50	9 千円			

				チュ	ニック項目					_	次評価	西		_	-次評価(	の説明	明		二次	評価	ī
		1.					、確保できる等 と響は大きくな		0	少ない	0	大き	()	いては総	と 等総合管 務省より4	各自治	体に策	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、次年	<b></b>	施す	る緊急性が認	思められない。	0	ない	•	ある			『あり、今復 動向、施言			0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の「	向上のために、	現在の手段	〉、方	法等の改善の無	余地がある。	0	ある	•	ない			IJiPi、ibia え必要で⁻		加砂進	0	ある	•	ない
		4.		の低下がみられ ごスとなってし		隣自	治体と比較し	ノてニーズを	0	いる	•	いなり	い					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	、事業内容	が必	ずしも適切とは	<b>まいえない</b> 。	0	いえなり	n o	いえる	<b>3</b>		全体の管 有効です。		画がな	0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	シネリ化など、	施策への貢	献度な	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなり	n 💿	いえる	る	7207	1303 C 7 0			0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中で舞	類似・重複	した	事務事業が存	存在する。	0	する	•	しなし	い					0	する	•	しない
HE		4.	事業の継続を	をしても成果の	の向上が期	待で	きない。		0	できなし	ν O	できる	3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて多	劣ってい	る		·画を実行 ・重要です		に移して	0	目標に比	べて劣	っている
	達世	2.	目標設定に対	対して成果がる	あまり上が	うて	いないと思う	<b>;</b> 。	0	あまり上	_がってし	ハない		0.4553	・主女しり	0		0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目	票を達成し	てじ	いると思う。		0	概ね達	成してい	いる						0	概ね達成	してい	გ
	,	4.	目標設定に対	対して十分に	目標を達成	えして	いると思う。		0	十分達	成してい	いる						•	十分達成	してい	<b>3</b>
		1.	効果に比べて	てコストが高し	,۱۰				0	高い	0	適当	á	PDCAサイフェロー	イクルを実 アップを図			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウハウ	や新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•	できた	ない	774 /	/ <b>/</b> / 전점	749	0	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	ヒ成果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余地	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	的方法の変更が	などにより	コス	ト削減の余地	<b>也がある。</b>	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
						次評								•		次評	•-				
	評值	五点	必要性	有効性	達成原	<b></b>	効率性	総合評	価		必要	性	1	<b>可効性</b>	達成	<b></b>	効率性	生	総	合評	価
	全名	を の	<b>4</b> ○ 拡大·充	<b>│  4</b> E実 ┃◎ 現料	4 犬維持		<b>4</b> 方法改善	A ○ 民間委詞	手笙		<u>4</u> )拡	大・充	宇		<u>【  4</u> ├維持		<u>4</u> 方法改善	É		A 引委記	 千 <b>生</b>
Λ		句性	○ 縮小		期設定		廃止/休止	0 2014794			)縮/		Ô	統合/終			<u> </u>		<u> </u>		
AC													二次	評価での		頁及で	ゾー次評	価と	の相違点	į	
T-0	当課	題	公共施設マネ	<b>ヾジメントの推</b> 遂	重のため、?	<b></b> 各施言	投所管課に計画	画の周知をはか	りま		Less A	任 北小	:: D +:	把握しなが	だこ 生 小っ	-/+:-	+ı v				
N			個別管理計画	画に基づき、関	係課、所管	:課と	連携しながら進	≜めてまいりま <sup>−</sup>	す。	Ā	画の別	<b>些抄仏</b>	、元ぞ	161注しなり	いつ正の)(	. \ / = 0	٠٠°.				
		員会 事項																			

	No. 6 —	23 基本事務事	業名 固定	官資産台中	長整備業務	1	事務事業	[名] 固定	定資産台帕	髰備引	事務	公的関与	2 5	ノート作成日	令和元	年12月19日
	部局名	ı̂	主画総務·	部	課名		契約管則		主務認			坂東 明	シ	ート作成者名		5川 学
	事業区分	○ 1 ソフト?			3 経常的事				金•負担金		車業	運営方法		直営		全部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維			6 内部	管理事務•		] 事本	连舌刀丛		一部委託		補助等
		基本構想(政							実施計	画				業の開始∙終		
	総合計画	基本計画(施						<b>(</b>	1 該当		平成		~ 4	<b>合和</b>	■図期	間設定なし
		主要施策	(3)	公共施設	め総合的な	管理の	)推進	0	2 非該当		根拠	L法令等				
		対象(誰を、 何を)	阿波市公	<b>公有財産及</b>	び高額物品											
		目的(どういう状態にし	最終的	公共施設	マネジメントの	つ活用を	三図り、行	財政改	革を推進す	5.						
PL		たいのか)	今年度	公会計制	度の運用開始	台に伴し	、年度更	更新を行	います。							
AN		具体的にどの														
N		① 市の公有	財産及び	高額物品	の新規取得や	b変動を	調査し、	固定資	産台帳を更	断する。						
	事業の	2														
	活動内容	3														
		4														
		5	_	1 - 1 - t- t- t		-m	337.71 T		<b>—</b>	(-	_	<del>-</del> -	<i></i>	A 7-	<i></i>	
		指標名	<u> </u>		は指標設定		単位		半成	29 年	<u></u>	平成 30	年度	令和 1	年度	最終目標
	数値目標			指標設定  め、設定し	になじまない	<i>t</i> =		目標								<del>                                     </del>
	(事業の目的			め、設定し	ンない			実績								
	及び活動内 容の達成度							目標 実績								<del>                                     </del>
	を測る指標)							<del></del>								
							H	実績								+
	予算費目	会 計			<b>수</b> 計		款	2 総	 終費		項	総務管	理費	目 2	財産管	理費
	7 77 76 1		平	成 2		- 算	平成	30	年度決	算して	令和		度予算		備考	
		国庫支出				千円				千円			千円	3		
		県 支 出	金			千円				千円			千円	3		
	直接事業費	地 方	債			千円				千円			千円	3		
D	但按爭未負	その他特定則	け源 しゅうしん			千円				千円			千円	3		
0		一 般 財	源		1,534	千円			1,188	千円		1	,287 千円	3		
		計(A)			1,534				1,188				<mark>,287</mark> 千円			
		正職員工数:		150 人	889	千円	0.150	人	871	千円 0	).150 人		<mark>906</mark> 千円	3		
	人件費(B)	臨時·嘱託職														
		臨時·嘱託工数·	経費	人	0	千円		人	0	千円	人		<b>0</b> 千円	3		
		業費(A+B)			2,423				2,059				<mark>.193</mark> 千円			

						ック項目					_	次評値	<b>5</b>		_	-次評価の	の説	明		二次	評価	5
		1.						「確保できる等 と響は大きくな		0	少ない	•	大きし	い		を求めて の運用に			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、	次年	度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。		ない	0	ある						0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の「	句上のため	うに、 <sub>現</sub>	見在の手段	〉、方	法等の改善の急	余地がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサート				隣自	治体と比較し	ノてニーズを	0	いる	•	いなし	۱,					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するた	ぬに、	事業内容	が必	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえな	n 💿	いえる	3	行財政改	革の推進	に有	効です。	0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ノネリ化な	ど、施	策への貢	献度な	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	ıν 💿	いえる	3					0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中	中で類	似・重複	した	- 事務事業が存	存在する。	0	する	•	しなし	,١					0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	をしても原	成果の	向上が期	待で	<b>ごきない</b> 。		0	できな	n 💿	できる	3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進掘	步状況	が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて貧	劣ってい	る	適正な固実施しま	定資産台	帳の	更新を	0	目標に比	べて劣	つている
	達	2.	目標設定に対	対して成男	果があ	まり上が	うて	いないと思う	j 。	0	あまり」	こがってし	いない		また公共	施設マネ		トへの	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概∤	2目標	を達成し	てじ	いると思う。		0	概ね達	成してに	いる		活用も検	討します。			0	概ね達成	してい	る
	/2	4.	目標設定に対	対して十分	分に目	標を達成	して	いると思う。		O		成してに							•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストな	が高い	0				0	高い	0	適当		効率的な	:運用を図	ってし	います。	0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウ/	ヽウや	新たな制	度を			0	できる	0	できた	はい					0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	上成果の関	関係で	、実施手	段等	を見直す余地	かある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変	変更な	どにより	コス	、ト削減の余地	かある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
						_	次評	価								Ξ	次評	価				
	評化	西点	必要性	有効	性	達成原	헌	効率性	総合語	平価		必要	性	1	<b>与</b> 効性	達成原	芰	効率	生	総	合評	価
	<u></u>	を の	<b>4</b> ○ 拡大·充	4   (1)	<u>_</u> 現状	<u> </u>		<b>4</b> 方法改善	A ○ 民間委	1生		<u>4</u> )拡:	 大 • 充:	<u></u>		<u>4</u>  *維持		<u>4</u> 方法改善	É		A 表	千笙
		句性	○ 縮小			期設定		廃止/休止	〇 以间安	164		) 縮/		$\frac{\overline{\overline{}}}{\overline{}}$	統合/終			廃止/休		O KIF	134	<u> </u>
C			) 1111	10 4781	<u> </u>	7711272		<i>7</i> 0— <i>7</i> 11—				- 11III	-		評価での					の相違点	į	
ACTION		面の 題	固定資産台帕	長の利活用	用につい	ハて今後	検討し	していく必要が	あります。			<u>-</u>	.到许日	#1 B	才産、資産	お高正答	理古	ス ト <b>ニ</b> 奴 <i>は</i>	ィスト	. <del></del>		
N	と 計	画	財務書類を作		政課と	 :調整しな	がら	、職員研修を重	重ねていく。			<i>&gt;</i>	·1797 <b>6</b> 7	ij U A	7) 注、貝 <b>庄</b>	ᆫᅄᅭᆸ	<u>~</u> ± 7 ′	<b>⊍</b>	<i>,</i> с г			
		員会 i事項																				

	No. 6 —	26 基本事務事	業名 電算	算システム	<b>、</b> 管理事務	事務事	業名	電子申請関係	<b>ໂ</b> 管理	業務	公的関与	4	シート作成日	令和元年	<b></b> 7月1日
	部局名	ı̂	上画総務	部	課名	契約管	計課	主務課	長名		坂東明	シ	<b>/一ト作成者名</b>		藤隆重
	事業区分	1 ソフト	事業	0	3 経常的事務			助金·負担金					直営	3 全	全部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持		6内	部管理事務•	その作	也	生品刀瓜		一部委託	4 存	助等
					基盤が整った『	可波		実施計	画				業の開始・終了	7	
	総合計画	基本計画(施						● 1 該当		平成	17 年	~ 4	令和 年	期間	設定なし
		主要施策	(2)	)行政内部	『のICT環境の	充実		○ 2 非該当	İ	根拠	法令等				
		対象(誰を、 何を)	市に電子	子申請を行 <sup>、</sup>	う個人及び法人										
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	市へ提出	する行政申請書	について、	オンライ	イン化を行うこと	こにより	り、事務の対	カ率化を図	るとともに	こ、市民の利便	生を高めま	きす。
P L		たいのか)	今年度	電子申請	ができる申請が	あることを	知っても	らう。							
A		具体的にどの	りようなえ	舌動を行し	ヽますか。(主な	もの5つま	まで)								
N		① 職員採用													
	事業の	② 子育てワ	ンストップ	プ窓口(マイ	゚ナポータルから	の利用)									
	活動内容	3													
		4													
		5													
		指標名	<u>名</u>		ては指標設定理			平成	29 年		平成 30		令和 1	年度	最終目標
	数値目標	電子申請件数	ζ		民に電子申請が		目標			90		9		90	90
	(事業の目的			さることを	知ってもらうため	) ،	実			51		6	/		
	及び活動内 容の達成度						目 実統								
	を測る指標)														
							実統								
	予算費目	会 計		— 般	会計	影		総務費		項 1	総務管理	甲書		電子計算	<b>上</b>
	了开关口	Д Ш	耳		9 年度決算				質	令和		度予算		備考	+ 只
		国庫支出		124 _		円			千円	1-18	•		電子申請の		は、徳島県
		県 支 出	金			円		:	千円				及び県内市	町村と共日	同で運営して
		地方	債			円			千円			千日	いるため、徳	島県電子	子自治体共
D	直接事業費	その他特定則	<b></b> 財源		Ŧ	円			千円			千円	同システム	、負担金ん	という形で支
0		一 般 財	源		191 ∓	円		191	千円			193 ∓⊦	出しています	0	
		計(A)			191 <del>T</del>	-円		191	千円			<mark>193</mark> ∓F	<del>"</del>		
		正職員工数:		.010 人	59 <del>1</del>	円 0.010	) 人	58	千円	0.010 人		<mark>60</mark> ∓F	<b>円</b>		
	人件費(B)	臨時·嘱託職													
		臨時·嘱託工数·	·経費	人	0 <del>1</del>		人	0		人		<b>0</b> 千F			
	全体事	業費(A+B)			<b>250</b> ∓	-円		249	千円			<mark>253</mark> 千日	<del>ŋ</del>		

					ェック項目					_	·次評(	西		_	-次評価の	の説	明		二次	評価	5
		1.					が確保できる等 ジ響は大きくな		0	少ない	,	大き	٠L١	今年度可	デジタルフ 「決され、彳	5政引	−続きの	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、次	年度以降到	実施す	<b>上る緊急性が</b> 認	忍められない。	0	ない	•	ある			実施(電子 ナ。(市町ホ			0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の「	句上のために.	現在の手	没、方	法等の改善の	余地がある。	0	ある	0	ない		努力義務		*) I – 6.	יייכוג	0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズ <i>0</i> 上回るサーb			丘隣自	目治体と比較し	ン <b>てニーズを</b>	0	いる	•	いな	い		町村におし 子申請が			0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するため	こ、事業内	容が必	がずしも適切とに	<b>まいえない</b> 。	0	いえな	い <b>(</b>	) いえ	る		ン化するこ や入力処			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ノネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	•	いえな	ι O	いえ	る		ため、有效			•	いえない	0	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中で	類似・重複	复した	と事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない	い					0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	をしても成果	の向上が其	期待で	<b>できない。</b>		0	できな	い <b>(</b>	) でき	る					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状	況が劣って	ている	ると思う。		0	目標に	比べて	劣ってい	る		は、毎年職 〒々増加化			0	目標に比	べてま	らっている
	達	2.	目標設定に対	対して成果が	あまり上が	がって	こいないと思う	5 。	0	あまり_	上がって(	いない		ため、目れ	標値を高く	しす	ぎたため	0	あまり上が	ってし	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目	標を達成し	してし	いると思う。		0	概ね道	成してし	いる		目標値を	達成できて	ていた	にい。	0	概ね達成	してい	る
	^	4.	目標設定に対	対して十分に	目標を達成	戊して	こいると思う。		0	十分這	を成して	いる						•	十分達成	してし	る
		1.	効果に比べて	てコストが高	ر۱ <sub>°</sub>				0	高い	0	適当	á		式を作ってに運用でき			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウハウ	や新たな制	削度を	を活用できる。		0	できる	0	でき	ない	を性は高		≥ ని/3	[07, 37]	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	ヒ成果の関係	で、実施	手段等	手を見直す余地	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変更	などにより	ノコス	スト削減の余地	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
					_	·次評	価								Ξ	次評	価				
	評値	三点	必要性	有効性	達成	度	効率性	総合評	価		必要		7	与効性	達成原	支	効率	生	総	合評	価
	<u></u>	を の	<b>4</b> ○ 拡大·充	3 	_ <b>  2</b> .状維持	ТО	<u> <b>4</b> </u> 方法改善	<b>○</b> 民間委詞	4生	1	<u>4</u> )拡:	大•充	<u> </u>   宇		<b>4</b> ⊬維持		<u>4</u> 方法改	£		A 引表:	4年
		句性	_	_	終期設定	6	廃止/休止	〇 以间安市	<u> </u>								<u>万点设</u> 廃止/休		O ICIF	133	164
C			O THE	10 1,70 1	17771277	<u> </u>	<i>35</i> — 11—				<u> </u>	•			指摘事項				の相違点	į	
ACTIO		画の					拡充され利便性 要と思われます		マイフ	<b>=</b>					えつつ、市	5民の	利便性が	「見込	≤まれるも	のに	ついて引
N	と多	草案 実行 画	きる職員の増	加や熟練を図	図る。2. マイ	イナン	ナ、電子申請の バーカードが娘 が多いと考えら	必要ない(紙申	請で打	<i>,</i>	き続き研	研究して	てくだ	さい。							
		員会 i事項																			

	No. 6 —	27 基本事務事	業名 電算	草システム	.管理事務	事	務事業名	3 情報	足セキュリテ	一ィ研修	俢	公的関与	4 シ	一卜作成日	令和元年	<b></b>
	部局名	ı̂	E画総務	部	課名	契	約管財認	-	主務課			反東明	シー	−ト作成者名	印	藤隆重
	事業区分	○ 1 ソフト?			3 経常的事務	务事業	<b>5</b>	補助金	金·負担金·	支援	車業浬	営方法	1 直	営	3 全	҈部委託
	争未应力	0 2 N-F	事業	0	4 施設の維持	寺管理	• 6	内部管	管理事務∙そ	その他	型 事未理	:呂刀広	_ 2 -	-部委託	<b>✓ 4</b> 취	亅
		基本構想(政	(策) 5.	明日への	基盤が整った	:阿波			実施計画	1			事業	の開始・終っ	7	
	総合計画	基本計画(施	(3)	情報化の	推進			<b>(</b>	1 該当		平成	17 年	<b>~</b> 令	·和 年	□ 期間	設定なし
		主要施策	(3)	情報セキ	ュリティ対策の	の推進		0	2 非該当		根拠沿	去令等	阿波市情	報セキュリテ	ィポリシー	
		対象(誰を、 何を)	部長以下	の職員								•				
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	セキュリテ	・ィに関する知詞	識の習得	・レベル	の向上	こをはかり、	セキュリ	リティ事故C	を目指す。				
PL		たいのか)	今年度	J-LIS主催	≝のe−ラーニン・	グセキュ	.リティ研(	修等を	活用し、セキ	ニュリテ	ーィに関する	知識の習行	导、レベル	レの向上を図る	<b>5</b> .	
A		具体的にどの	りような活	舌動を行い	トますか。(主フ	なもの5	つまで)									
N		① のe-ラー	ニングセー	キュリティ矽	T修											
	事業の	2														
	活動内容	3														
		4														
		5														
		指標名	各	計算式又	は指標設定理	里由 単	単位		平成 2	29 年	度 ·	平成 30	年度	令和 1	年度	最終目標
	数値目標	職員のセキュ	リティ研		ィ研修は全ての耳			目標			100		100		100	100
	(事業の目的	修受講率			3得が必要なた&		515	実績			98.53		98.27			
	及び活動内	研修修了テス	ト得点		イ研修を受講して ないと意味がな			目標			80		80		80	80
	容の達成度 を測る指標)	(平均点)		め	CAECONO OF	, ,	2	実績			87.4		89.2			
	で例の指標)							目標								
								実績				T				
	予算費目	会 計					款		<u></u>		項			目	1	
				成 29			₽成	30	年度決算		令和	1 年	<b></b>	// /	備考	- TT /5 0
		国庫支出				千円				·円				J-LIS主催の		
		県 支 出	金			千円				·円			千円	ため、財源し ただし、イン	よかかりん ターネット	い。 に按結して
	直接事業費	地方	債			千円				·円			千円	いるパソコン	ノーイント	アドレスが
DO		その他特定則				千円				·円				必要となる。	, , , , , , ,	710773
U		一般財	源			千円			0 +				0 千円			
		計(A)	∅ 建 ○	100 人		千円	.100 人		0 ∓ 581 ∓		0.100 J		04 千円			
	人件費(B)	正職員工数·清 臨時·嘱託職		100 人	593	+H  0	.100 人		581 ∓	H	0.100 人	0	<mark>04</mark> 千円			
	八十頁(D)	臨時·嘱託工数·		<u> </u>	0	エロ	ı		<b>0</b> ∓	т	1		<b>0</b> 7 m			
	<b>全</b> 从重	L <sup>臨時・嘱託工数・</sup> 業費(A+B)	社員	人	593	千円	<u>人</u>		581 ∓		人	6	0 千円 04 千円			
	工 件 尹 :	木貝 (イーロ)			797				JOI T	17		U		1		

					ニック項目					_	一次評	呼価		_	-次評価の	の説明	明		二次	評価	
		1.	市が実施しな主体があり、				、確保できる等 と響は大きくな		O	少な	い (	● 大き	きい	つながる	−行為が、 かや、ウィ	ルス	感染の	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	況の中、次年	<b>F度以降実</b>	施す	る緊急性が認	忍められない	·. O	ない		<ul><li>ある</li></ul>	3		高まるか とによりセ			0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の向	]上のために、	現在の手段	、方	法等の改善の無	余地がある。	0	ある		● なし	۸,		方をどの。			0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサービ			隣自	治体と比較し	<b>ノてニーズを</b>	0	いる	(	● いた	はい	よいかが	身に付きる	ます。 		0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実	現するために	、事業内容	が必	ずしも適切とに	<b>まいえない</b> 。	0	いえた	ない (	<b>●</b> いき	える		ングのため			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ネリ化など、カ	施策への貢献	就度な	が著しく高いと	はいえない。	0	いえた	ない(	● いえ	える	きに受講	することか	「でき	ます。終	0	いえない	•	いえる
C	効 性	3.	市が実施する	施策の中で舞	領似・重複	した	事務事業が存	存在する。	0	する	(	● した	ij()	いと終了	が一定の <sub>が</sub> できないシ	ノステ	ムのた	0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	しても成果の	の向上が期	待で	<b>ごきない。</b>		0	できた	ない (	● でき	きる	め内容を 進めませ	理解してし ん。	ハない	と先に	0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標	に比べ	て劣って	いる	概ね全て	の事務職			0	目標に比	べて劣	っている
	達世	2.	目標設定に対	して成果があ	あまり上が	って	いないと思う	5 。	0	あまり	)上がっ <sup>.</sup>	ていない	1	る。	CCMEC	J* <del>I</del> 74	.0.0	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	して概ね目	票を達成し	てい	いると思う。		•	概ね	達成し <sup>-</sup>	ている						0	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	して十分に	目標を達成	して	いると思う。		0	十分	達成し	ている						•	十分達成	してい	<b>3</b>
		1.	効果に比べて	コストが高い	,۱۰				0	高い		● 適:	当		崖のセキュ はかかり			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	のノウハウ	や新たな制	度を	活用できる。		0	できる	3 (	● でき	きない	ルルク貝の	143.2.5	<b>БЕ</b> /	U <sub>0</sub>	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	成果の関係で	で、実施手	段等	₹を見直す余 <sup>地</sup>	也がある。	0	ある	(	● なし	,١					0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更な	などにより	コス	く ト削減の余地	也がある。	0	ある		<ul><li>なし</li></ul>	۸,					0	ある	•	ない
					— <u>;</u>	欠評	•• •								=	次評	•-				
	評化	西点	必要性	有効性	達成度	Ŧ	効率性	総合				要性	1	<b>与</b> 効性	達成原	芰	効率性	生	総	合評	価
	全征	多の	<del>4</del>	<b>4</b> 実 ┃	<u>│  3</u> 犬維持	0	<u> <b>4</b> </u> 方法改善	<ul><li>○ 民間委</li></ul>	-			<u>4</u> 広大・3	<u></u> 字宝		<b>4</b> ∵維持		<u>4</u> 方法改善	臣		A 表記	f等
Λ		句性		○ 統合/約		$\frac{\circ}{\circ}$	<u> </u>	0 2017/3		_		<u>タン、 ァ</u> 宿小	ÎÒ	統合/終			<u> </u>		0 2012		
ACT													二次	評価での		頁及で	ゾー次評	価と	の相違点	į	
10		面の	パソコンの環 <sup>域</sup> う必要がありま		セキュリテ	ィ研(	修が困難な職均	易があるため	、工夫					行えてい	るが、レベ	ルア	ップのた&	かにE	<b>1程・メニ</b> ∶	ı—•;	方法等を
N	と事	革案 実行 ·画	正規職員のセ 育できるレベル		多を十分に行	行うこ	ことにより、嘱討	£、臨時職員?	を指導	、教	工夫し	て下さ	زر <sub>۱</sub> .								
		員会 [事項																			

	No. 6 —	28 基本事務事			、管理事務	事	務事業	名イン	ターネット環	境分離	に伴う強靭	化 公的関与	4 シ	/一ト作成日	令和元年	<b></b>			
	部局名		<b>主画総務</b>		課名		契約管財		主務課			坂東明							
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務		_		金·負担金		<b>4 4</b>	運営方法	<u> </u>			部委託			
	争未色力	○ 2 ハード	• • • •		4 施設の維持		<b>●</b> 6	内部	管理事務•		他	注百刀丛		-部委託		助等			
					基盤が整った	阿波			実施計	画				€の開始・終了					
	総合計画	基本計画(施							1 該当		平月		<b>~</b> 令	ì和 <mark>年</mark>	設定なし				
		主要施策			・ュリティ対策の			0	2 非該当			処法令等							
			内部事務 威に対抗		らインターネット	トを分离	催し、専用	端末及	び仮想デス	スクトッ	プ環境で	閲覧可能と	することに。	より、あらゆる <i>-</i>	インターネッ	ットを介した脅			
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	<b>加する。</b>															
PL		たいのか)	今年度	<mark>車度</mark> 前年度をもって完了 前年度にインターネット系のwindows7の専用端末を入替用の端末の購入を行った。															
AN		具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)																	
N		① 仮想デスクトップ環境の整備(内部のパソコンから仮想環境へ接続することにより、安全にインターネット閲覧等ができるようになる仕組み)																	
	事業の 活動内容	② 専用端末の整備																	
		⑤ 指標名   計算式又は指標設定理由 単位   平成 29 年度   平成 30 年度   令和 1 年度   最終目標																	
		指標名	<u>K</u>	計算式又は指標設定理由					半成	29 年				令和 1	年度	最終目標			
	数値目標	実施						目標			実施		実施		実施	実施			
	(事業の目的							実績					実施						
	及び活動内 容の達成度							目標 実績											
	を測る指標)							目標											
								実績											
	予算費目	会 計		一般	会計		款	2 総利	务費		項	1  総務管	理費	目 9	電子計算	算費			
			平	成 2		算	平成	30	年度決	算	令和		度予算		備考				
		国庫支出	1 金			千円				千円				平成30年度					
		県 支 出	金			千円				千円			千円	末の購入を	行い終了し	した。			
	直接事業費	地 方	債			千円				千円			千円		1				
D	但该学术员	その他特定則				千円	千円					千円	4						
0		一般財	源	667 千円					6,450				千円	4					
		計(A)	/= +h	667					6,450		0								
	L /4	正職員工数:		500 人	2,965	千円	0.100		581	千円	)		0 千円						
	人件費(B)	臨時·嘱託崩		, 1					_				0						
		臨時·嘱託工数·	·	人		千円	,			千円	)		0 千円						
	至仲争。	業費(A+B)			3,632	十円			7,031	十円			0 千円						

チェック項目										_	-次評	価		一次評価の説明					二次評価				
		1.		なくても、公 <sup>宝</sup> 事業を廃止					0	少ない	γ <u>(</u>	)大き	きい	け、総務	の情報漏 省の指示(	こより	、イン	0	少ない	•	大きい		
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、次年	<b>年度以降実</b>	施す	る緊急性が認	ぬられない。	. 0	ない	(	ある	)	ターネットなくなった	·分離を行 -	わない	けばなら	0	ない	•	ある		
	性	3.	住民満足度の回	向上のために、	現在の手段	、方	法等の改善の余	余地がある。	0	ある	(	ない	١	1/4 \/4 \/1_0					ある	•	ない		
		4.		D低下がみられ ごスとなってし		隣自	治体と比較し	, てニ <b>ー</b> ズを	0	いる	C	いな	ίlγ					0	いる	•	いない		
		1.	施策の目的を顕	実現するために	、事業内容	が必	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえた	il (	いえ	る		ネット分離で		0	いえない	•	いえる			
	有	2.	事業内容のマン	はいえない。	0	いえた	il 🧿	いえ	.a	パソコンからの情報流出の危険			0	いえない		いえる							
C	効性	3.	市が実施する	存在する。	0	する	(	しな	١٤١	性がなくなったため、有効性は非常に高いもととなります。				0	する	•	しない						
KOHHOK		4.	事業の継続を	としても成果の	0	できた	ılı	でき	る					0	できない	•	できる						
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標(	こ比べて	劣ってし	いる	平成29年度当初には、仮想デス クトップ環境が整備できていな					○ 目標に比べて劣っている				
	達	2.	目標設定に対	0	あまり	上がって	いない		かったた	○ あまり上がっていない													
	成度	3.	目標設定に対		概ねi	主成して	いる		下すると職員から不満があったが、平成29年度中には整備でき					○ 概ね達成している									
	12	4.	目標設定に対	0		<u>= //</u> 達成して			<i>t</i> =.				● 十分達成している										
	効	1.	効果に比べて	0	高い	0	● 適当		近隣他市に比べ非常に安価な 金額で、仮想デスクトップ環境を			0	高い	•	適当								
		2.	他の実施主体	0	できる	5	● できない		整備しました。専用端オ			こつい	0	できる	•	できない							
	率性	3.	予算・人員と	0	ある	•	ない	١	ては、平成30年度に入替用端末 を購入し、事業を終了した。			0	ある	•	ない								
	'-	4.	電子化や契約	内方法の変更な	などにより	コス	ト削減の余地	也がある。	0	ある	•	ない	١								ない		
					— <u>ү</u>	欠評	価				二次評価												
	評値	三点	必要性	有効性	達成度	/v.II	効率性	平価				7	有効性 達成度		支	効率性	生	総合評		·価			
	<b>△</b> ½	後の	<b>4</b> ○ 拡大·充	<u>4</u> E実   ⊚ 現料	<b>│ 4</b> 比維持	$\overline{}$	<b>4</b> 方法改善	A ○ 民間委	<b>红笙</b>			· 大•充	<u> </u>   字	<b>4</b> ┃ ○ 現状	<b>│  4</b> ∜維持	0 :	<u>4</u> 方法改割	É		A 表	<b>工</b> 生		
		り性	○ 縮小				廃止/休止	〇 以间安	<u> </u>		<ul><li></li></ul>			統合/終			<u> </u>		O KIE	1321	<u> </u>		
C			0	10 100 111	.,,,,,,,,		<i>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</i>				<u> </u>	-			指摘事項				の相違点	į			
ACT-O		題	仮想デスクトッ	仮想デスクトップ環境のサーバについては、5年ごとの入替が必要となりま																			
N	と3 計	画	模索します。・	費用が安く抑え 今後数年間は、 事業を終了しま	、サーバ、端	考え	 えます。今後、- の入替の必要に	 -層の費用削 まありません。	減方》 目的	去を	7 I& U、	、ピイ-	<b>-</b> -77	1 刈 沢1〜5	7 47 CN/20	ਦਾ '∘							
		員会 事項																					

	No. 6 —	29 基本事務事	業名電算	草システム	、管理事務	事	務事業名	内部	IICT環境の充	実に伴	う調整会講	公的関与	4	シート作成日	令和元	年7月2日			
	部局名	企	主画総務	部	課名	契	約管財調		主務課長			坂東明	3	ノート作成者名	i E	卩藤隆重			
	事業区分	○ 1 ソフト				圣常的事務事業 📗 🔾 5 補			輔助金·負担金·支援			事業運営方法		/ 1 直営		全部委託			
	争未应力	○ 2 ハード	事業		4 施設の維持	設の維持管理 ● 6 内			n部管理事務・その他			医舌刀压	<b>2</b>	一部委託	<u> </u>	補助等			
					基盤が整った	:阿波			実施計画	Ī			事	業の開始・終					
	総合計画	基本計画(施						<b>(</b>	1 該当		平成	29 年	~	令和 <mark> </mark>	on <mark>年│□期間設</mark> 第				
		主要施策	(2)	行政内部	)充実		0	2 非該当		根拠	法令等								
		対象(誰を、 何を)	情報通信	言技術の活	用による市民・	ナービス	の向上及	び行政	汝事務の効率	☑化等Ⅰ	に係る調	全及び実施	に関す	る事項に対し庁	内調整会	議を行う			
	事業の 対象・目的																		
PL		たいのか)		最新ICT技術の調査、研究、研修会及びICT調整会議の開催															
AN		具体的にどの			きか。(主	なもの	5つまで)												
		0	① 阿波市ICT推進会議の開催																
	事業の	② 最新ICT環境の調査、研究																	
	活動内容	③ 知識取得	のための	研修会の	開催、参加														
		5											, .						
		指標名	<u> </u>	計算式又は指標設定理由					平成 2	9 年	度 平成 30 年度			令和 1	年度	最終目標			
	数値目標	調整会議開催	回数	年1回以上を目標			1 目 実							1					
	(事業の目的			_							1			<u> </u>					
	及び活動内 容の達成度							目標   											
	を測る指標)							►棋_ 目標											
								1 <u>标</u> <b>E</b> 績											
	予算費目	会 計		一般:	수計			総利	 冬春		項 1	総務管	<b>理</b> 書	目 9	電子計	<b>首</b>			
	了开关口	Д	平	成 2		質   3		30	年度決算	[   <del>4</del>	<u> </u>		度予算		備考	开只			
		国庫支出				千円	1 //4		<u> </u>	_	i. i.e.	<u> </u>				波市ICT推進			
		県 支 出	金			千円			千	_			千	_ 円 会議を設立	した。				
		地方	債			千円			千	円			т	記 最新ICTの	実証結果	等の調査、研			
D	直接事業費	その他特定則	<b>け源</b>			千円			Ŧ	円			千	門修会等に参	鯵加し、知	識の習得に努			
0		一般財源		千円			千円			円			千	一めている。	コかフェンム				
		計(A)					0 千円						<b>0</b> 千	円					
		正職員工数:		300 人	1,779	千円 (	0.300 人		<b>1,742</b> 千	円 0	).300 人	1,	<mark>811</mark> 千	円					
	人件費(B)	臨時·嘱託職	战種																
		臨時·嘱託工数·	経費	人		千円	人		<b>0</b> ∓		人		<b>0</b> 千	円					
	人仕事	業費(A+B)			1 770	1,779 千円			1,742 千	Щ		1	<b>811</b> 千	шl					

				チェ		_	·次評值	西		一次評価の説明					二次評価									
		1.						、確保できる等 ジ響は大きくな		0	少ない	,	大き	·l\	情報通信 め、先進	自治体、1	<b>企業等</b>	で活用	0	少ない	•	大きい		
	必要	2.	厳しい財政	<b>犬況の</b>	中、次年	度以降実	施す	る緊急性が認	ない いっぱい。	0	ない		ある		している技の効率化	支術を学び	ゾ、行	政事務	0	ない	•	ある		
	女性	3.	住民満足度の	向上のフ	ために、ヨ	現在の手段	〉、方	法等の改善の統	戻地がある。	0	ある	•	ない		の効率化	・寺に奇う	- ୨ ବ		0	ある	•	ない		
		4.	住民ニーズ(上回るサー				隣自	治体と比較し	,てニーズを -	0	いる	•	いな	い					0	いる	•	いない		
		1.	施策の目的を	実現する	るために、	、事業内容	が必	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえな	い <b>(</b>	いえ	<u>გ</u>	先進自治 結果、事				0	いえない	•	いえる		
	有	2.	事業内容のマ	ンネリ化	上など、施	策への貢	献度な	が著しく高いと	<b>まいえない</b> 。	0	いえな	い 💿	いえ	る	報収集を進め、阿波市において				0	○ いえない		いえる		
C	効性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。									•	しなり	い	運用の可能性を検証している。				0	○ する		しない		
HE		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。									い <b>(</b>	でき	<b>3</b>				0	できない	•	できる			
CK		1.	目標設定に	0	目標に	比べて	劣ってい	る	必要に応じ調整会議を開催、最新は後の理解の関係の意味を					○ 目標に比べて劣って										
	達	2.	目標設定に	0	0	あまり」	新技術の研修会開催、参加などを実施						○ あまり上がっていない											
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。								概ね達	成してに	いる		注目されるコンテンツなど情報収 集などを行っている					概ね達成している				
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。							一 十分達成している										十分達成	してし	る		
		1.	効果に比べてコストが高い。								高い	● 適当		á	情報通信技術の研修会への参加、情報種週などを実施してお				0	高い	•	適当		
	効	2.	他の実施主	の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。							できる	<ul><li>る できない</li><li>⑤ ない</li></ul>		ない	り、費用に	まかかって	こいま	せん。場	0	できる	•	できない		
	率性	3.	予算・人員。	・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。							ある			合により県外での研修会等 り、参加が難しい場合があり			き等が有 あります	0	ある	•	ない			
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。								ある	0	ない		が、資料の収集など依頼できるものもあります。					ある	•	ない		
						_	次評	·価							二次評価									
	評値	西点	必要性	有	効性	達成原	吏	効率性	総合評	価		必要	性	1	<b>可</b> 効性	達成	芰	効率	生	総合評		価		
		を の	<b>4</b> ○ 拡大・対	本	<b>4</b> ● 現状	3 产丝# <del>   </del>		<b>4</b> 方法改善	A ○ 民間委詞	1生		<u>4</u> )拡:	大•充	宝		<b>4</b> ├丝# t=		4 方法改氰	É		A 表	<b>工生</b>		
		句性	○ 縮小		統合/終			廃止/休止	〇 以间安市	<u></u>		) 縮.			統合/終			<u> </u>		O KIE	J X F	L #		
A			O THE S	10.	170 H / 11C	7711272		<i>7</i> 0— <i>/</i> 111—				<u> </u>	-		評価での					の相違点	į			
TIO		面の 平成30年度は、RPAに関する学習会を行いました。導入するに際して、3 題 務効率を検証する必要があります。							も分な												/+2+1\			
N	اع	革案 実行 ·画	現段階では、	導入事	₽例のある	る技術や実	ミ証 実	<b>実験などの情報</b>	収集をします。	· ·		- 市民サービス、行財政改革につながるものについて、引き続き研究してください。 -									VECV10			
		員会  事項																						